

伊勢崎市議会議長 長沼 宏泰 様

伊勢崎市議会 有志会
会長 田村 幸一

令和 5 年度政務活動費支出状況報告書（第3四半期）

伊勢崎市議会政務活動費の交付に関する条例第7条の規定により、次のとおり令和 5 年度第3四半期（10月から12月まで）の政務活動費支出状況を報告します。

1 支出状況

（単位：円）

科 目	今期支出額	左のうち、 今期概算払受領済額	備考
調 査 研 究 費	3,770		
研 修 ・ 会 議 費	288,031	285,490	第2回・第3回概算払分
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	1,980		
広 報 広 聴 費			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
人 件 費			
事 務 所 費	5,280		
合 計	299,061	285,490	

2 交付限度額 1,575,000 円

3 既交付額 973,836 円

4 今期請求額 13,571 円

5 未交付額 587,593 円

6 添付書類

- (1) 領収書
- (2) 視察等報告書
- (3) 会計帳簿の写し
- (4) その他政務活動費の支出に係る証拠書類



令和5年度 政務活動費会計帳簿

交付限度額	1,575,000
既交付額	973,836
支出額計	987,407

会派名： 有志会

整理番号	日付	科目	内容	収入	支出	差引
1	4/15	広報広聴費	市政報告新聞 新聞折込代		26,950	-26,950
2	4/17	広報広聴費	有志会ニュースチラシ 新聞折込代		218,213	-245,163
3	5/4	資料購入費	群馬建設新聞購読料(令和5年4月～9月)及び振込手数料		42,340	-287,503
4	5/17	資料購入費	日経グローバル年間購読料及び振込手数料		92,795	-380,298
5	5/21	調査研究費	「防災と福祉を考える会」年会費		6,000	-386,298
6	5/24	調査研究費	会費(「相川考古館友の会」、「群馬婦友会中毛支部」、「ぐんまりユース食器センター」)		17,000	-403,298
7	6/22	資料購入費	市川房枝記念会 女性参政資料季 書籍代		8,745	-412,043
8	6/22	調査研究費	公益財団法人市川房枝記念会 女性と政治センター訪問		4,840	-416,883
9	6/26	資料購入費	「感染症危機管理と自治体」書籍代		2,750	-419,633
10	7/20		第一四半期分入金	419,633		0
11	7/24	調査研究費	ぐんま女性議員政策会議 年会費		3,000	-3,000
12	7/25	研修・会議費	「障害者の自立と政治参加を進めるネットワーク」講演会参加のための交通費、宿泊費など		112,420	-115,420
13	7/26	調査研究費	ぐんま女性議員政策会議 年会費		3,000	-118,420
14	7/28	資料購入費	書籍代「女性展望」、D-file購読料		64,200	-182,620
15	8/17		第1回概算払分入金(地方議員研究会主催研修会参加「財政の基礎と資料の見方」)	76,750		-105,870
16	8/24	研修・会議費	地方議員研究会主催研修会参加「財政の基礎と資料の見方」		76,380	-182,250
17	9/5	事務所費	会派室用文房具代		4,763	-187,013
18	9/21	事務所費	コピー機インク代(会派室用)		4,950	-191,963
19	9/28		第2回概算払分入金(第85回全国都市問題会議参加)	151,220		-40,743
20	9/29		第1回概算払い精算による戻入	-370		-41,113
21	10/5		第3回概算払分入金(第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加)	139,270		98,157
22	10/13	研修・会議費	第85回全国都市問題会議参加(10/11～10/13、八戸市)		148,340	-50,183
23	10/16		第二四半期分入金	192,333		142,150
24	11/14	研修・会議費	太田市総合体育館整備事業視察手土産代		2,541	139,609
25	11/27		第2回概算払い精算による戻入	-2,880		136,729

整理 番号	日付	科目	内 容	収 入	支 出	差 引
26	11/30	研修・会議費	第18回全国市議会議長会研究フォーラム参加(10/24~10/26)		137,150	-421
27	11/30	事務所費	事務所プリンターインク代		5,280	-5,701
28	12/19		第3回概算払い精算による戻入	-2,120		-7,821
29	12/27	資料購入費	書籍代「前橋学ブックレット34.35.36」		1,980	-9,801
30	12/29	調査研究費	年会費「一般社団法人マニフェスト研究会」		3,770	-13,571
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						
41						
42						
43						
44						
45						
46						
47						
48						
49						
50						
51						
52						
53						

令和 5 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

22

会派名	有志会	議員氏名	経理責任者 小暮笑鯉子
支出年月日	令和5年10月13日(第3四半期)	支出額	148,340 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使途区分	1. 調査研究費 (2) 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	第85回都市問題会議参加(10/11~10/13) *午前中から研修のため前泊		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

きんしん キャッシュサービスお取扱明細票
 毎度ご利用いただきありがとうございます。
 ただいまのお取扱いは、下記のとおりです。


まさかのときに「カードローンきゃっする」
 フリーダイヤル「0120-032056」

お取扱日	年 月 日	取扱金庫店番	通番
	05 09 28	██████████	██████████
カード発行金融機関・店番・科目・口座番号			
██████████-*****			
お取引金額	千円券	500円	100円 50円
お取引内容	お引出		
手数料	¥550	通帳員	お取引金額
時刻	12:58	¥71,000*	
説明コード	お取引後残高		
	¥239,838*		

ご案内またはお振込み明細

カ) JTB様

イセキシキ`カイ コウシカイ 000099
 000545 様 09072020321

ホームバンク きんしん  桐生信用金庫

上記振込金額の内訳

宿泊費 10,500円 * 2泊 * 2人 = 42,000円
 参加費 10,000円 * 2人 = 20,000円
 視察参加費1人 9,000円
 振込手数料 550円

株式会社JTBジェイネット東北
所長 鎌田 友子
〒980-8520
宮城県仙台市青葉区一番町3-7-23
明治安田生命仙台一番町ビル3階
担当者: 小野寺 憲太

請求書番号: 223394317000445001
登録番号: T8010701012863

請求書

有志会 様

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 ￥40,000 (税込)

イベント名	第85回全国都市問題会議	
イベント会期	2023/10/12 ~ 2023/10/13	
請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	￥40,000	￥2,727 -
(10%対象)	￥30,000	￥2,727 -
(8%対象)	￥0	￥0 ※1
(対象外)	￥10,000	￥0 ※2
入金額	￥0	
請求残額	￥40,000	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お支払期限 2023/09/29

口座情報	
銀行名	
支店名	
口座種別	
口座番号	
口座名義	株式会社JTB

明細は次頁以降をご参照ください。

請求明細

請求書発行日: 2023/09/21

2 / 2

請求額合計 ￥40,000 (税込)

【内訳】

イベント名 イベント会期	第85回全国都市問題会議 2023/10/12 ~ 2023/10/13				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2023/09/07	2023/10/12~13 会議参加費 小暮 笑鯉子 様(申込者)	¥10,000	1	¥10,000	※2
2023/09/02	2023/10/13 12:10~18:30 【C:歴史】「世界遺産と 日本100名城の古の記憶に想いを馳せ、今に伝える歴 史文化拠点」視察コース 小暮 笑鯉子 様	¥9,000	1	¥9,000	10%
2023/09/02	2023/10/11 ホテルパールシティ八戸／一泊朝食付 (シングル／一泊朝食付) 小暮 笑鯉子 様	¥10,500	1	¥10,500	10%
2023/09/02	2023/10/12 ホテルパールシティ八戸／一泊朝食付 (シングル／一泊朝食付) 小暮 笑鯉子 様	¥10,500	1	¥10,500	10%
① 請求額合計				¥40,000	¥2,727
				(10%対象)	¥30,000
				(8%対象 ※1)	¥0
				(対象外 ※2)	¥10,000
② 入金額				¥0	
③ 請求残額				¥40,000	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

株式会社JTBジェイネット東北
所長 鎌田 友子
〒980-8520
宮城県仙台市青葉区一番町3-7-23
明治安田生命仙台一番町ビル3階
担当者: 小野寺 憲太

請求書番号: 223394317000444001
登録番号: T8010701012863

請求書

有志会様

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 ￥31,000 (税込)

イベント名 第85回全国都市問題会議

イベント会期 2023/10/12 ~ 2023/10/13

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	￥31,000	￥1,909 -
(10%対象)	￥21,000	￥1,909 -
(8%対象)	￥0	￥0 ※1
(対象外)	￥10,000	￥0 ※2

入金額 ￥0

請求残額 ￥31,000

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お支払期限 2023/09/29

口座情報

銀行名

支店名

口座種別

口座番号

口座名義 株式会社JTB

明細は次頁以降をご参照ください。

請求明細

請求書発行日: 2023/09/21

2 / 2

請求額合計 ￥31,000 (税込)

【内訳】

イベント名		第85回全国都市問題会議				
イベント会期		2023/10/12 ~ 2023/10/13				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税	
2023/09/07	2023/10/12~13 会議参加費 田村 幸一様(申込者)	¥10,000	1	¥10,000	※2	
2023/09/02	2023/10/11 ホテルパールシティ八戸／一泊朝食付 (シングル／一泊朝食付) 田村 幸一様	¥10,500	1	¥10,500	10%	
2023/09/02	2023/10/12 ホテルパールシティ八戸／一泊朝食付 (シングル／一泊朝食付) 田村 幸一様	¥10,500	1	¥10,500	10%	
① 請求額合計				¥31,000	¥1,909	
				(10%対象)	¥21,000	¥1,909
				(8%対象 ※1)	¥0	¥0
				(対象外 ※2)	¥10,000	¥0
② 入金額				¥0		
③ 請求残額				¥31,000		

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

政務活動費領収書等貼付用紙（続紙）

◎貼付欄（領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。） 整理番号 22

領収書	有志会	様
Receipt		
領収年月日	2023.10.10	登録番号: T9011001029597
金額	¥65,320	税10%
上記金額確かに領収いたしました		
購入商品	JR乗車券類	印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済
	(20051 8枚)	
	東日本旅客鉄道株式会社	
	伊勢崎駅VA1発行 30052-02	

上記金額のうち、下記を補助対象経費とする。

10,340円(伊勢崎⇒本八戸) * 2人 * 往復	=41,360円
2,400円(高崎⇒大宮間新幹線指定席) * 2人	=4,800円
6,590円(大宮⇒八戸間新幹線指定席) * 2人	=13,180円

領収書	有志会	様
Receipt		
領収年月日	2023.10.13	登録番号: T9011001029597
金額	¥14,830	税10%
上記金額確かに領収いたしました		
購入商品	JR乗車券類	印紙税申告納 付につき渋谷 税務署承認済
	(60307 2枚)	
	東日本旅客鉄道株式会社	
	八戸駅VF02発行 00308-01	

帰りの特急券(八戸→大宮→高崎) * 小暮議員
上記はグリーン席の金額のため、指定席8,990円を上限とする

政務活動費領収書等貼付用紙 (続紙)

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。) 整理番号 22

領 収 書
Receipt
有志会 様
領収年月日 2023.10.12 登録番号: T9011001029597
金額 ¥11,660 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類
(30206 1枚)
東日本旅客鉄道株式会社
本八戸駅VF01発行 40207-02

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

帰りの特急券(八戸→大宮)* 田村議員

上記はグリーン席の金額のため、指定席6,590円を上限とする

領 収 書
Receipt
有志会 様
領収年月日 2023.10.13 登録番号: T9011001029597
金額 ¥1,870 税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類
(30402 1枚)
東日本旅客鉄道株式会社
大宮駅VF23発行 40403-02

印紙税申告納
付につき波谷
税務署承認済

帰りの特急券(大宮→高崎:自由席)* 田村議員

第85回全国都市問題会議 開催のご案内

期 日：令和5年10月12日(木)・13日(金)

テーマ：文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

会 場：八戸市公会堂・公会堂文化ホール

申込期間：令和5年7月24日(月)～8月9日(水)

(主 催)

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日 本 都 市 セ ン タ ー

八 戸 市

(協 賛)

公益財団法人 全 国 市 長 会 館

日 程

第1日 10月12日 (木)

- 9:30 開 会 式
- 9:50 基 調 講 演 東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克 彦 氏
- 11:00 主 報 告 青森県八戸市長 熊 谷 雄 一 氏
- 12:00 (昼 食)
- 13:10 一 般 報 告 文化事業ディレクター、演出家 吉 川 由 美 氏
- 14:10 (休 憩)
- 14:30 一 般 報 告 長野県東御市長 花 岡 利 夫 氏
- 15:30 一 般 報 告 (株)鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴 木 秀 樹 氏
- 16:30 (終 了)

第2日 10月13日 (金)

9:30 パネルディスカッション

[コーディネーター]

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小 林 真 理 氏

[パネリスト]

合同会社imajimu代表取締役 今 川 和 佳 子 氏

拓殖大学商学部教授 松 橋 崇 史 氏

静岡県沼津市長 頼 重 秀 一 氏

京都府綾部市長 山 崎 善 也 氏

11:50 閉 会 式

閉会後 行政視察 【事前申込者のみ (有料)】

講師略歴

基調講演



ひびの かつひこ
日比野 克彦
東京藝術大学長、アーティスト

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科修了。1982年第3回日本グラフィック展大賞、1983年第30回ADC賞最高賞、1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレ出品。1999年毎日デザイン賞グランプリ、2015年文化庁芸術選奨芸術振興部門文部科学大臣賞受賞。2007年より東京藝術大学教授。2022年4月より東京藝術大学長に就任。他の主な要職として、岐阜県美術館長、熊本市現代美術館長、日本サッカー協会社会貢献委員長を務める。

主報告



くまがい ゆういち
熊谷 雄一
青森県八戸市長

1962年青森県八戸市生まれ。1985年日本大学法学部卒業。2001年八戸市議会議員に当選（1期）。2003年青森県議会議員に当選（5期）。2011年東日本大震災対策特別委員会委員長。2015年議会運営委員会委員長。2017年には青森県議会議長に就任。2021年に八戸市長に就任し、現在1期目。市民との対話を重視し、市政に対する理解と共感を得ながら、「災害や危機に強い安全安心で暮らしやすいまちの実現」や「子どもファースト事業の推進」、「スポーツ・文化、観光による魅力と活力あるまちづくりの実現」など、市民とともに新しい八戸の創造を目指し市政に取り組んでいる。

一般報告



よしかわ ゆみ
吉川 由美
文化事業ディレクター、演出家

仙台市生まれ・在住。宮城教育大学卒業。文化芸術を核に、コミュニティ、地域資源、観光、教育、医療、福祉などをつなぎながら、地域に活力と新たな価値を創り出す活動を進めている。青森県八戸市の八戸ポータルミュージアム はっちで10年間アートプロジェクトをディレクション。八戸市美術館のオープニング展「ギフト、ギフト、」のディレクターを務めた。東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県南三陸町で、多様なアートプロジェクトを展開してきた。「南三陸311メモリアル」のラーニングプログラム制作と展示ディレクションを担当。



はなおか としお
花岡 利夫
長野県東御市長

1951年生まれ。山口県宇都市出身。信州大学農学部を中退し、妻の実家の家業を継ぐ。「御菓子処花岡」の三代目として、地元特産品の「くるみ」をつかった和洋菓子を次々と開発。県内に7店舗を構える人気店へと成長させる。同時に、参議院議員秘書や観光協会、商工会での活動を通じ、「まちづくり」の魅力に引き込まれる。平成20年4月、第2代東御市長に就任。地形（標高差）を活かした取り組みで、地方創生を着実に推し進める。現在4期目。全国市長会北信越支部長、北信越市長会会長、長野県市長会会長を務める。



すずき ひでき
鈴木 秀樹
株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長

昭和35年12月21日生まれ。青森県八戸市出身。陸上自衛隊少年工科学校を経て、富士学校戦車教導団へ。同団で教育支援に携わっていた1980年、サッカー日本代表選抜候補に選出。1981年、住友金属工業株式会社（現：日本製鉄株式会社）に入社し、当時日本サッカーリーグ（JSL）2部の同社蹴球団に選手として加入する。引退後は競技運営に携わるようになり、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）への初年度加盟が決まると、鹿島アントラーズと名称を変更したクラブにおいてスポンサーシップやチケッティングを取り扱うフットボール事業業務に従事する。事業部内の主要ポスト歴任後、2010年に同クラブ取締役就任、2022年から取締役副社長。また、2013年からJリーグ・マーケティング委員、2017年から2020年までJリーグ・マーケティング委員長を務めた。2014年から筑波大学客員教授、2015年からは茨城県サッカー協会副会長を務める。

©KASHIMA ANTLERS

パネルディスカッション

コーディネーター



こばやし まり
小林 真理

東京大学大学院人文社会系研究科教授

東京都武蔵野市在住。早稲田大学大学院政治学研究科博士課程単位取得退学、博士（人間科学）。2004年から現職。国および地方自治体の文化政策および文化行政の研究を行っている。地方自治体の長期計画策定委員会、文化審議会、文化施設建設構想関係の委員会等の委員を務める。編著書等に『文化政策の現在シリーズ（全3巻）』（東京大学出版会、2018）、『法から学ぶ文化政策』（有斐閣、2021）、『自治体文化行政レッスン55』（美学出版、2022）等。

パネリスト



いまがわ わかこ
今川 和佳子

合同会社 imajimu 代表取締役

八戸市出身。2008年から6年間、八戸ポータルミュージアムはっち初代コーディネーターとして、文化芸術事業を担当。2014年、合同会社 imajimu 設立。ア

ートイベントの企画運営、商品企画開発のほか、最近「昼のみ部」という人が集う場を作り自ら料理を振る舞うなど、アートを軸にさまざまな分野を融合することをライフワークとしている。「酔っ払いに愛を〜横丁オンリーユーシアター〜」では立ち上げから昨年までディレクターを務めた。はちのへ文化のまちづくりアドバイザーボード委員。

パネリスト



まつはし たかし
松橋 崇史

拓殖大学商学部教授

1982年茨城県生まれ・在住。慶応義塾大学卒業。博士（政策・メディア）。東京工科大学メディア学部助教を経て、2016年に拓殖大学商学部准教授に就任。

2023年より同教授。専門は、スポーツマネジメント、スポーツ政策。主な著書に、『スポーツのちから一地域を変えるソーシャルイノベーションの実践―』（共著）、『スポーツまちづくりの教科書』（編著）、『ホストタウン・アーカイブ：スポーツまちづくりとメガイベントの記録』（編著）。

パネリスト



よりしげ しゅういち
頼重 秀一

静岡県沼津市長

1968年静岡県沼津市生まれ。1991年日本大学理工学部卒業後、民間企業、国会議員秘書を経て2003年に沼津市議会議員に初当選。以降4期連続で当選

し、2017年には議長に就任。2018年沼津市長に初当選し、現在2期目。今年度市制施行100周年を迎えた沼津市において、「フェンシングのまち沼津」のブランド形成やサイクリングを通じた観光誘客、サッカーをはじめとした地元プロスポーツクラブの支援等、スポーツを通じたまちのにぎわいづくりに取り組む一方、地元を舞台としたアニメ「ラブライブ！サンシャイン!!」を活かした地域の活性化にも力を入れている。

パネリスト



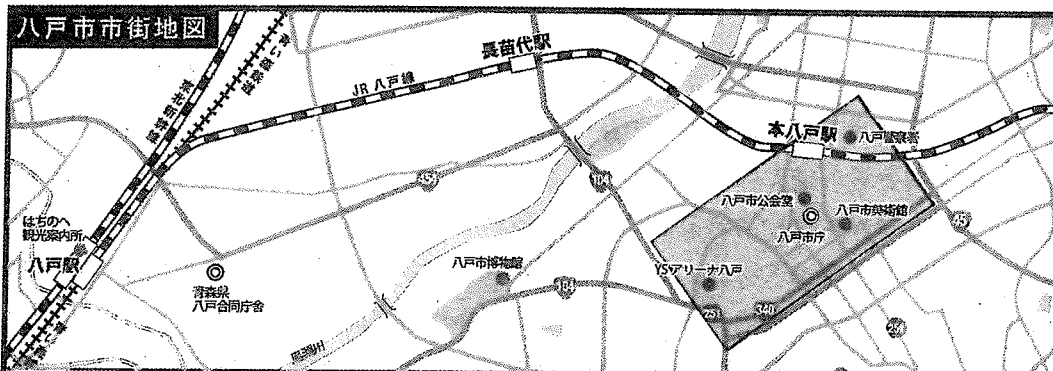
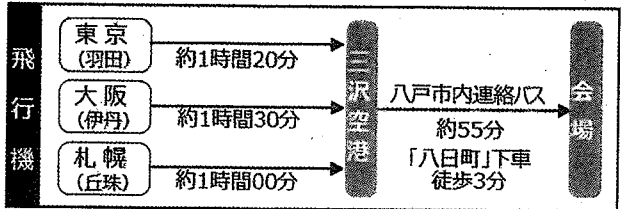
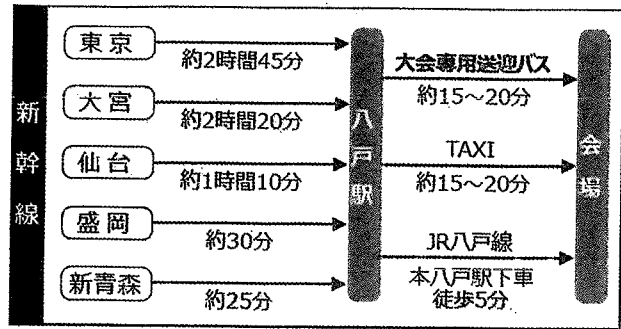
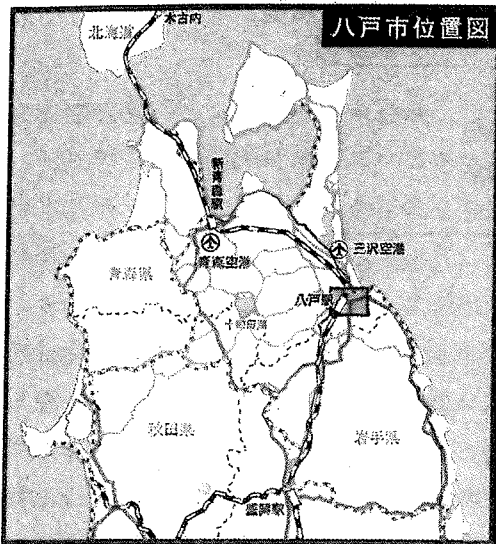
やまざき ぜんや
山崎 善也

京都府綾部市長

1958年京都府綾部市生まれ。九州大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現日本政策投資銀行）入行。1986年サンフランシスコ大学経営大学院（MBA）修了。

1990年世界銀行グループ国際金融公社へ出向。帰国後は企業戦略部長、国際部長など歴任。2010年2月綾部市長に就任し現在4期目。世界連邦宣言自治体全国協議会会長、全国水源の里連絡協議会会長などを務める。自ら「合唱団あやべ」の一員として「合唱のまち綾部」を推進。他にトレイルラン、里山サイクリングなどスポーツを通じた地域振興も展開している。

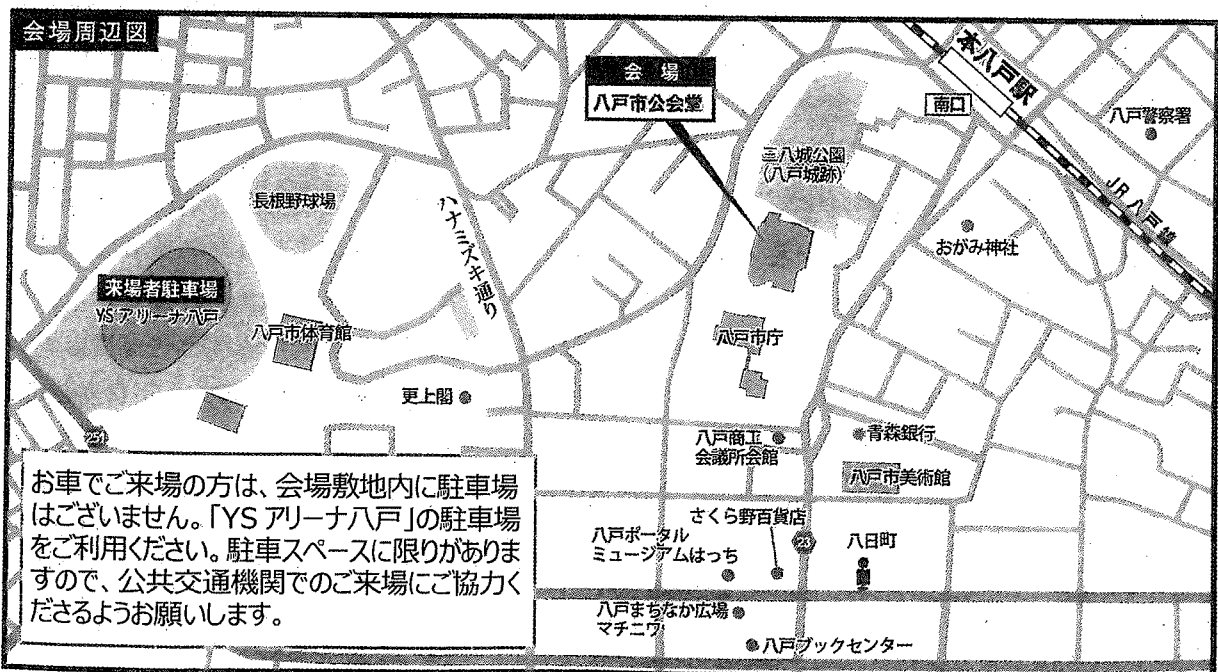
会場アクセス



八戸駅西口と会場間は大会専用送迎バスを10分間隔で運行します。
《運行予定時間》

- ・第1日 往路 7:30~8:30 復路 16:40~18:00
- ・第2日 往路 7:30~8:30 復路 12:10~13:00

JR八戸線「本八戸駅」から会場まで徒歩約5分程度ですが、八戸線の運行本数は1時間に1本程度です。



お車でこ来場の方は、会場敷地内に駐車場はございません。「YSアリーナ八戸」の駐車場をご利用ください。駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関でのご来場にご協力くださるようお願いいたします。

Cコース：HACHINOHE HISTORY 歴史

「世界遺産と日本 100 名城の古の記憶に想いを馳せ、今に伝える歴史文化拠点」 視察コース

ユネスコ世界文化遺産に登録された北海道・北東北の縄文遺跡群を構成する「是川石器時代遺跡」の数々の出土品等を展示する是川縄文館と、安土桃山時代の南部氏の拠点を忠実に復元した日本 100 名城の一つ「史跡根城」を巡り、八戸地方の悠久の歴史の魅力に触れていただくとともに、史跡根城では地元中学生による重要無形民俗文化財の伝統芸能「八戸えんぶり」の舞をご覧いただきます。

■旅行代金：お一人様 9,000 円（諸税込）

■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代、昼食代、入場料、視察費用、添乗員・乗務員費用
※お飲み物代金は含まれておりません。

■募集人数：40 名様（最少催行人数 25 名様）

■食事条件：昼食 1 回

〈表記例：貸切バス===〉

八戸市公会堂	===	《昼食》	===	是川縄文館	《視察》	===
	12:10	12:20	13:10	13:40	14:30	
史跡根城の広場	《視察》	（えんぶり鑑賞）	===	ユートリー／八戸駅	===	三沢空港
15:00		16:00	16:20	17:30	18:30	

【八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館】

国重要文化財「是川遺跡出土品」と「風張 1 遺跡出土品」を中心に展示しており、縄文時代の優れた漆文化や工芸技術など、縄文の美を堪能することができます。中でも、2009 年に国宝に指定された合掌上偶は必見です。2021 年 7 月には是川石器時代遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録されました。



【史跡根城の広場】

日本の 100 名城の一つである根城は、南北朝時代に南朝方武将として活躍した南部師行（なんぶもろゆき）が建武元年（1334 年）に築城して以来、領地替えになるまでの約 300 年間、八戸地方の中心として栄えました。本丸跡には、発掘調査の成果をもとに、当主が儀式を執り行った主殿を中心に、工房・板蔵・納屋・馬屋などの建物が復原され、安土桃山時代の面影を現代に伝えています。



【えんぶり】

八戸地方に春を呼ぶ郷土芸能であり、国の重要無形民俗文化財に指定されております。その年の豊作を祈願するためのお祭りで、太夫と呼ばれる舞手が、馬の頭をかたどった華やかな烏帽子をかぶり、頭を大きく振る舞が特徴的です。



視察等報告書

整理番号 22

会 派 名	有志会	報告者氏名	小暮 笑鯉子
日 時	令和5年10月11日(水)～13日(金)		
事 項	第85回全国都市問題会議参加		
場 所	八戸市公会堂・公会堂文化ホール(青森県八戸市)		
参加者氏名	田村 幸一・小暮 笑鯉子		
(目的・理由・内容)			
別紙のとおり			
(成果・所感)			
別紙のとおり			

※(目的・理由・内容)及び(成果・所感)は別途報告様式に替えることができる。
なお、(成果・所感)は、参加者全員が記入する。

研修視察の意見・感想

会 派 名	伊勢崎市議会 有志会
報 告 者	小暮笑鯉子
研 修 年 月 日	令和 5 年 10 月 12 日(木)、13 日(金)(1 泊 2 日)
研 修 名	<p>第 85 回全国都市問題会議 in 八戸市</p> <p>■第1日目 基調講演: アートの役割って何だろう? 主報告 : 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり 一般報告: まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる 一般報告: 標高差 1500m の地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出 一般報告: まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用</p> <p>■第 2 日目 パネルディスカッション テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」 行政視察: 八戸 HISTORY 歴史</p>
参 加 者	田村幸一、小暮笑鯉子(報告者) (合計 2 名)

目次:

■メモ	2
1.1 基調講演 : アートの役割って何だろう?	2
	東京藝術大学長 日比野克彦 ... 2
1.2 主報告 : 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり.....	4
1.3 一般報告 : まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる.....	7
■所感.....	10

■メモ

講演の中で、特にしっかり把握し、本市に取り入れていきたい事項を以下にメモする。

1.1 基調講演：アート役割って何だろう？

東京藝術大学長 日比野克彦

◆アート◆とは、『私たちが日常の中で自己を見つめたり、人と接したり、社会を変えたいという気持ちになった時に必要なもの』と講師は言っている！初めて聴く内容だった。アートが、まちづくりに必要な要素となるとのこと。

- ✿アートは生きる力
- ✿アートは多様性の指針
- ✿アートはこころに作用する



他者と異なっていることが、互いの価値、自分らしい姿を見つけることになる。この他者との違いがその人の個性になるというアートの価値観は、多様な価値観の存在を認識できるフィールドになるのかも？と。

多様性のある社会を目指すことをはじめ、地球規模の環境問題、エネルギー、教育、差別、貧困、平和などなど、これらの社会的課題に対して人が取り組んでいく時、その行為を継続的に持続的に続けていくためには、1人1人の気持ちが動くか、こころが動くかが大切になってくる。

そこにアートが必要となってくると！

アートとは、「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」捉えることができる。

私たちが、日常の中で、自己を見つめたり、人と接したり、社会を変えたいという気持ちになった時に、いつもそこにはアートが必要な気がする。

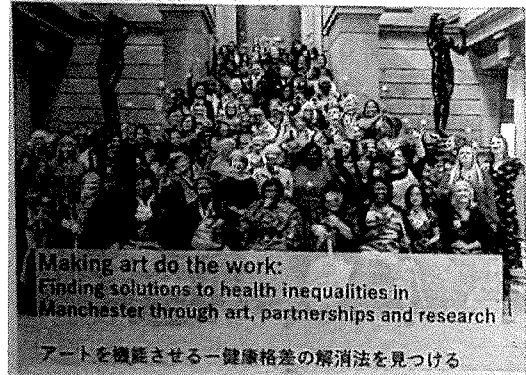
今ではない未来の姿を想像する力、ここではない場所を想像することができる力、1人1人の差異を、違いを否定することなく、そこにいることを排除しないという感覚。これらのアートの特性を現代社会を構築していく中での、基盤に据えていくことができいく社会を想像することが大切。

大きな力が世界を動かすのではなく、1人1人の小さいけれど、確実にある、すこしずつ異なった多様な想いが、時代を変化させていくような気がする。

【ポイント】

- 博物館の定義が変わった。コミュニティの参加、コミュニケーションを育むところの拠点となっている。例)八戸市美術館のジャイアントルーム(市民交流の場)

- 拠点をつくることにより、人が集まり、会話が生まれる。故郷を振り返ったり、コミュニケーションの形成、みんなが集いたい！より身近に、継続的に、そういう場が必要。
- アートで社会的課題に取り組む。アートの思考で解決しよう！アートには、人の心を動かす力がある！
- センサリープロジェクト、文化的処方箋により、1人の患者の経費が削減できる。例)ハウスオブメモリー。認知症コミュニティ。美術館で認知症を処方していこう！それにより、認知症の進行を遅らせることができる。オンラインでも可能。アートは生きる力。マンチェスター市立美術館など。
- 拠点があることは大事。それを分かり易く発信。拠点とは、居心地が良いところ、ワイガヤできる場所。
- 「文化リンクワーカー」とは？人と人、人と社会を結ぶ人。文化リンクワーカーが、1人ひとりの状況に応じた「文化的処方」を生み出す。



【取組1】国民文化祭（文化的処方・文化リンクワーカーを国民文化祭のレガシーに）

2023年の石川県国民文化祭では、本学の企画で文化的処方をテーマにフォーラムを開催し、2024年の岐阜県国民文化祭では、岐阜県美術館を拠点にすでに育成されているアートコミュニケーターが文化リンクワーカーとして市民とプログラムの構築しを担うことを検討しています。

2023年 石川県
フォーラムの開催
「障がい×子ども×アートの文化的処方」(仮称)

2024年 岐阜県
現地のアートコミュニケーターが文化リンクワーカーとして市民とプログラムの構築しを担う

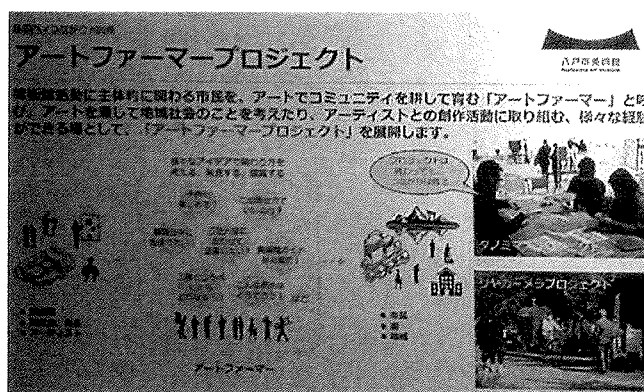
2025年 長崎県
2025年以降も文化リンクワーカーの仕組みを承継

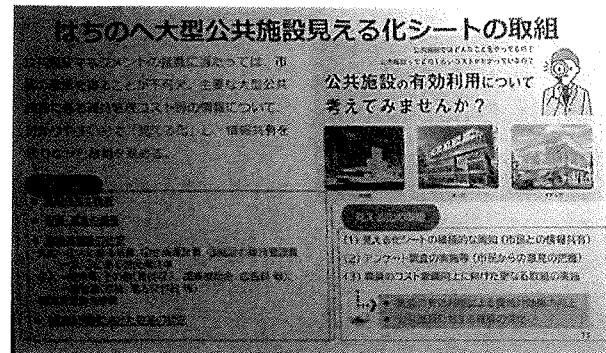
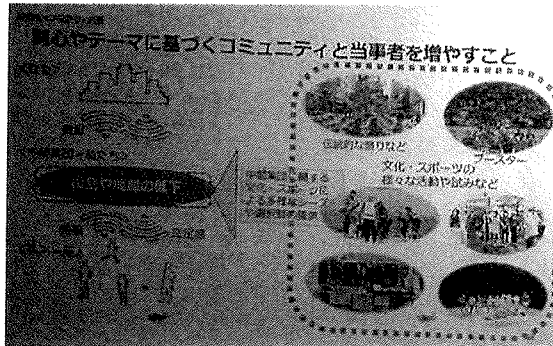
1.2 主報告：八戸市の文化・スポーツによるまちづくり

青森県八戸市長 熊谷雄一

【ポイント】

- 伝統的な祭りの存在で、祭りをする側の世代を超えた人的交流が帰属意識を高め、コミュニティ維持の役割を担っている。
- 八戸市美術館は、アートでコミュニティを耕し、地域社会のことを考え、アーティストと共に創作活動に取り組む市民を「アートファーマー」と呼び、市民が主体的に美術館運営に関わることや、地域とのつながりを生み出すことを目指している。
- 居場所と出番をつくること。多様化するライフスタイルの様々な段階において、仕事や家庭と別のサードプレイスで、社会と関われる、さらに言えば、まちづくりに関与することができる、多様な選択肢がある地域社会づくりを目指していくことが必要であり、文化・スポーツはそのためのシーズを大いに提供してくれる。たとえ、定住人口が減ったとしても、活動を通して地域づくりに主体的に関わる人、すなわち地域づくりの当事者が増えれば、まちは豊かになるはずである。
- 公共施設は、徒に用途を狭めることなく多様なアクティビティを受け入れる都市空間を意識的につくり出していくべきでは？
- 効率や成長を重視する→成熟社会への価値観の転換を前提としたまちづくりの在り方の1つとして、互いの顔や活動が見える空間づくりにより、コミュニティ感覚を醸成し、そこで誘発される交流から、より良い社会をつくるイノベーションが生まれるきっかけになるのでは？





ジャイアントルーム <体験をより深める>

八戸市美術館は、誰もが気軽にアートに触れられる機会を提供する「展覧会」と展覧会の体験をより深める出会いや学びを誘発する様々な「プロジェクト」を展開します

展覧会

ホワイトキューブ等の展示室

展覧会をきっかけプロジェクトが立ち上がる

→

←

プロジェクトから展覧会がつけられる・運動する

双方が車の両輪のような関係

プロジェクト

例えば、美術と音楽体験の融合

例えば、アーティストトークや講座的な企画

ジャイアントルーム

オープンでパブリックなスペースとしての公共施設の活用

中心街の賑わい、商業の発展のみならず、社会的・文化的活動の場にも活用し、アート・文化・スポーツ施設を連携

展示も観光にも活用される

入居者のコミュニティが生まれる

「マチニワ」その後のコマ

ある日の美術館前ひろば

みちニワ (実証試験の実施) 2023. 8.31~9.11

施設を市民の憩いの場として活用

建物と街が繋がる

八戸市中心市街地まちづくりビジョン2023 まちづくりの目指す4つの方向性

1. 人が主役のまちづくり

～人々の暮らし、活動や交流が中心にあるまちなかへ～

まちなかを住みやすく、歩行、滞在、活動、交流、子育てや学びを通して、楽しさ、真実、幸福を感じることをできる、人々の暮らしを実現する場に転換、再構築していきましょう。

また、人が主役のまちづくりの取組から社会関係資本を蓄積し、熟慮熟成した市民社会を実現していきましょう。

2. 地域の資源を活かそう

～歴史や強み、個性を活かした八戸ならではのユニークを～

3. 活力ある経済と社会

～産業が伸び、社会的役割を用い発展し続けるエリアに～

4. 参加と横断的なマネジメント

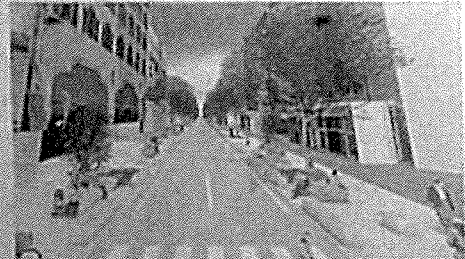
～多様な主体が知恵を出し合い取組を担う、参加と連携をベースに～

八戸市中心街ストリートデザイン事業

1. 目的

✓中心市街地のメインストリートである国道340号三日町・十三日町区間について、街路を車中心からひと中心の空間へ転換する「居心地が良く歩きたくなるまちなか」の形成を図る。

✓歩車道の一体的整備、さらに様々な活動が展開されるストリートへの転換を目指す。



イメージ (イメージ)
⇒実証試験「みち二ツ」の実施

まちなかWi-Fi／はちまちLINE 運用開始

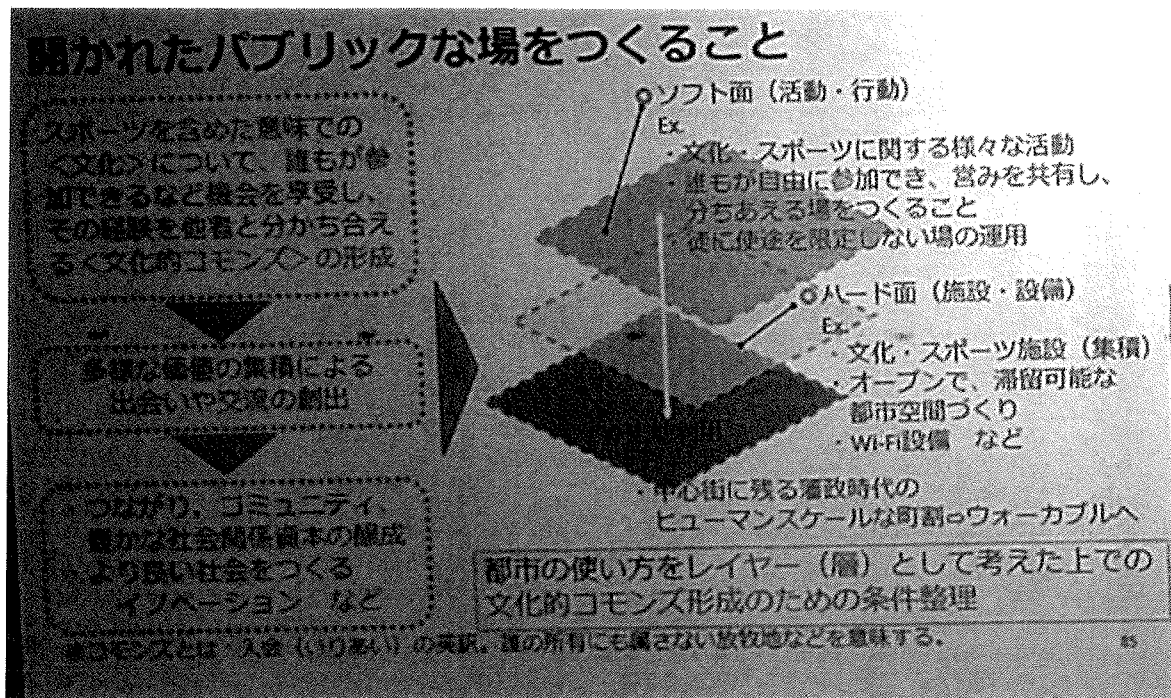
三日町・十三日町・六日町・十六日町の屋外全エリアにおいて、令和5年7月22日よりフリーWi-Fiの運用をスタート!



Wi-Fi環境の整備や、LINEを活用した情報発信、クーポンの発行、さらにはAIカメラを活用した人流分析とオープンデータ化。

- ・来街動機の創出
- ・滞在性と回遊性の向上
- ・活動の誘発などの効果を期待





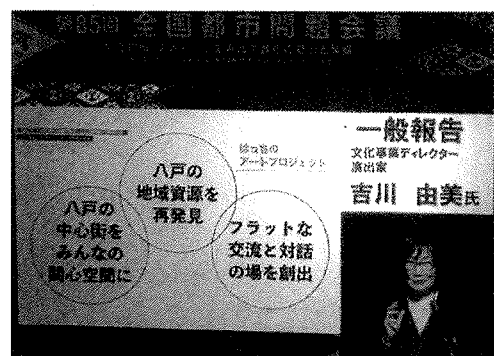
1.3 一般報告：まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる

文化事業ディレクター、演出家 吉川由美

八戸市の職員は、アートの方で中心市街地を再生していこうという明確なビジョンを持っている。はっちが開館する前から以下の3点を柱に、プロジェクトを立案した。

- ① 中心市街地を関心空間にする。
- ② フラットなコミュニケーションの場を創る。
- ③ 地域資源の価値をみんなで見出す。

当時、ワクワクできる関心事をまちなかに見つけることは困難。また商店街や商店同士の交流も固定化し、まちをみんなで面白くしていこうという気運も低下していた。人が歩いていない。⇒パワーダウンした中心市街地の発展を！！



まちを再生する市民力をブーストするには、市民が自分事として参加できる、分野を横断し壁を揺さぶるようなアートプロジェクトが必要と。地域に根ざしたテーマを探し、アーティスト、市の職員、コーディネーターたちとプロジェクトを進めた。

開館後は地域資源をさらに深掘り起こすプロジェクトを展開。商店街を巻き込み、世代や立場を超えた多様な市民がハッチに集まった。まさに、フラットなコミュニケーションの場が実現された瞬間だった。

アートプロジェクトの現場では、異なる立場の人たちの間にある壁が壊れ、対等に語り合い、異なる価値観を容易に認め合える場が生まれる。まちづくりには、このようなプラットフォームがなくてはならない。

地域の資源を (文化、人、モノ、直、自然...etc)
大事に想いながら
新しい魅力を創りだすこと

地域の資源を活かす

市民とともに創りあげる

まちなかに回遊してもらう

八戸市は「はちのへ文化のまちづくりプラン八戸市文化芸術推進基本計画」で、地域の固有性の追求、分野横断、社会包摂を指針として位置づけ、文化のまちづくりを進めている。世代も立場も考え方も異なる人々が想像の難しさ喜びをみんなで共有している。寛容に違いを受け止め認め合い、孤独から解放され、地域社会の一員としての自分自身を確認し、

街をみんなの関心空間に
 地域資源の再発見・再価値化

多様な立場、世代の市民がクロスする
 交流と対話の場を創出

日々の暮らし、生業の中にある
 ソフトパワーをブーストすることで
 市民が主役の“場”ができる

地域資源を再価値化ことで
 郷土愛、シビックプライドを醸成し
 地域経済にもインパクトを与えられる

地域社会の一員である自分を確認し、
 ここで生きていく喜びを感じ
 地域や人を思う心が育まれる

人としてのあり方を親や上司以外のロールモデルから学ぶことができる場。山車小屋は、創造を通して「地域をつくる人」を育てる場であった。山車造形や色彩感覚の独

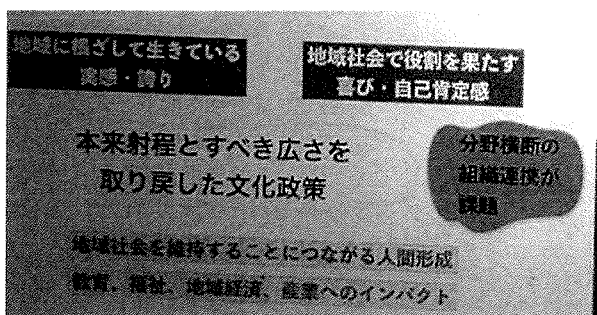
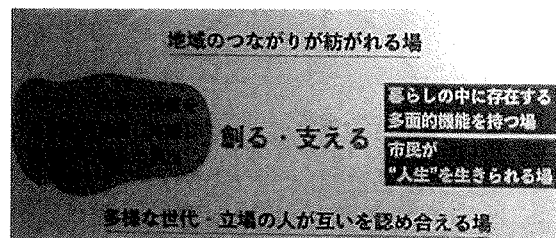
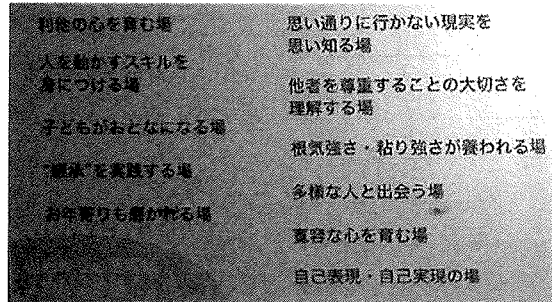
自性だけでなく、祭りを「支える」市民の無償の行為と心意気こそが、八戸三社大祭を支える「地域の分母としての文化」である。そのモチベーションは、経済合理性に拠るものではなく、センシティブなバランスの上に成立しているものである。市民のボランティアな力を決して忘れてはならない。人々が疲労することなく、祭りや芸能に参加する喜びと意義を感じ続けることが、その継承につながる。支えている市民力の価値を可視化し、讃える機会が、ど

の地域でもほとんどない。「地域の分母としての文化」の価値を、今、行政も市民も意識するべきだろう。

2011年東北大震災の後、私利私欲を捨てた結果、海の環境は回復し、全員が震災前以上の収益アップを実現し、跡継ぎたちが浜に帰ってきている。なぜこんな選択ができたのか？瓦礫のただなかに丸裸で立ち尽くした人間たちを動かしたのは、彼らの内部に沈殿していた「地域社会の分母としての文化」の力なのではないだろうか。自然と命への畏敬の念、地域で支え合う「講」の習わしが育ててきた利他の精神が、災禍をきっかけに彼らを動かした。地域や未来を俯瞰する眼差し、議論し倒すコミュニケーション力、新たなチャレンジへの勇氣。それらは彼らの文化であった。

その文化は地域社会の分母として、根源的な地域基盤である。それは、危機的な状況におかれた人間、再生へのクリエイティブなアクションを起こさせる底堅い力をもたらす。人間のしなやかな強さとレジリエンス力は、経済合理性や利便性からは決して培われない。文化こそが、より困難な選択へと人を駆り立て、未来のために挑戦する気概を人の心に生み出すのである。

私たちが行ってきた地域に根ざしたアートプロジェクトは、普段見えにくい地域固有の文化や個々のアイデンティティを再発見する



視座を住民たちにもたらし、彼らの絆を支え、シビック・プライドの醸成に一役買ったという確かな手応えを、今、感じている。

『地域の活力と魅力の源泉は“地域文化”』

観光産業や関係人口獲得にとって「地域固有の文化」はキラーコンテンツである。それは経済活動をブーストするパワーを持っており、一方で「地域の分母としての文化」は災害などの

危機から再生する力やインクルーシブな思想を住民の中に育み、自身を肯定しながら安心して生きられる社会の礎を創る。

インターネット社会は世界を均一化し、デジタル上では誰もがグローバルに最先端のアートと出会え、

誰もが名立たる表現者になるチャンスに恵まれている。そんな時代だからこそ、分子としての文化政策よりも、分母を支える文化政策が求められている。

祭りの例のように、経済のうねりが地域文化を披露させてしまう危険を見極めつつ、まちのソフトパワーと地域社会の分母を担う人づくりを意識し、地域に根ざした文化政策のあり方を考えたいものである。



■所感

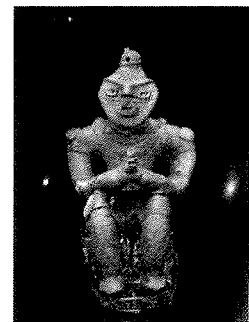
今回の全国都市問題会議。リアルでの講演は、心・魂に響くほどの感激と感動、勇気と元気を頂くことができ、それだけ素晴らしい内容と講師陣でした。大変大きな学びとなりました。参加できたことに、心から感謝しております。

その中で、

1 番腑に落ちたのは、『まちの良さを伝えるには、自分が誰よりもそのまちを愛すること』だと。まちを愛している「人」が話すからこそ、訪れる人が自分のまちや思い出に重ねて共感し、自己肯定感が生まれ、自分のまちや家族そして自分自身が大好きであることの再確認につながるのだと。

印象に残ったのは、まちづくりにおいて、“いつ頃”“どの地区”において“誰が主体となって”“どんなまちづくり”が実施されるのか。まちなかに関わる全ての人の“居場所”と“出番”を明らかにして行う仕組みです。多くの市民から共感を得て、さらに次の行動を誘うというプロジェクト自体が“進化”していくと好循環となるそうです。

世界遺産となった是川石器時代遺跡のこと、国宝になった『合掌土偶』がある現場に行き、五感で感じれたことも魂が悦ぶ体験となり、ぜひ、伊勢崎市の歴史を紐解きたいとエネルギーが湧いてきました。



深く再確認させて頂いたことは、人口減少時代のまちづくりのキーワードは、「楽しい、うれしい、面白い」だと。この3つを追求しながら、楽しい image を描き、世の中の皆さんを

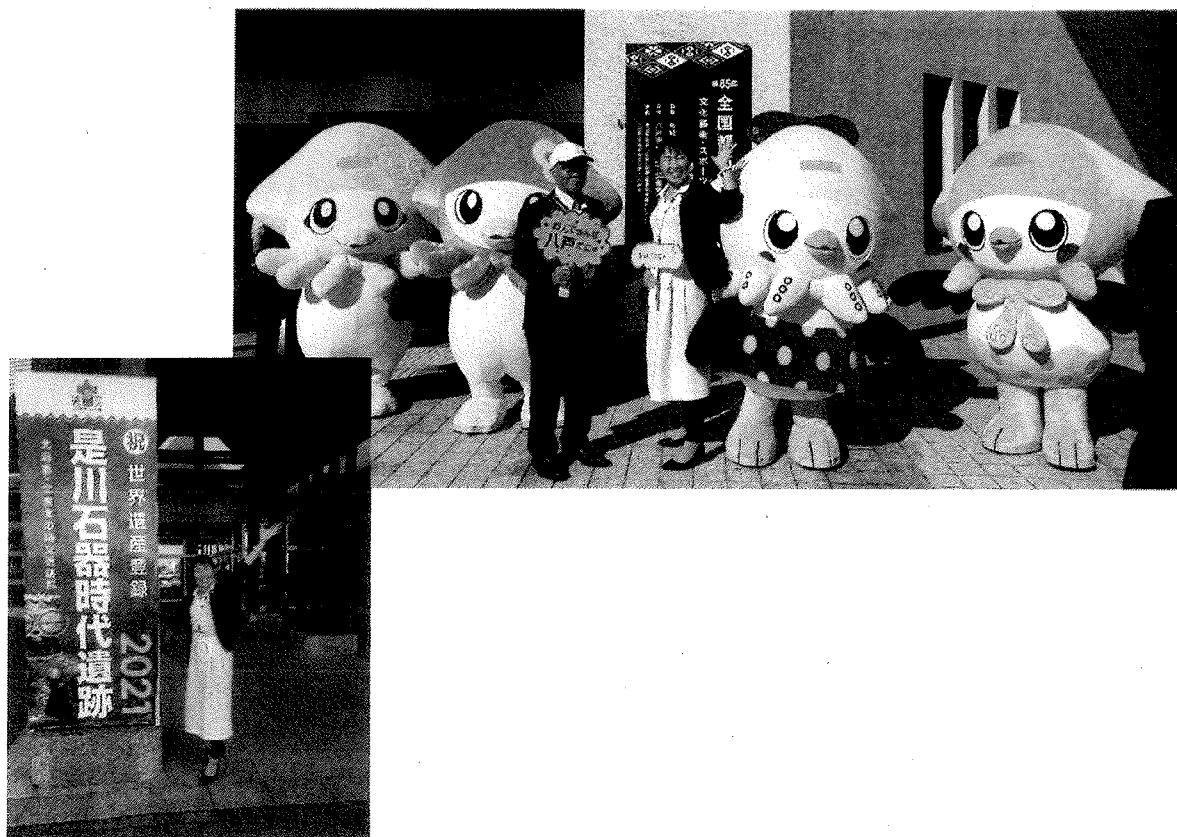
頼って、楽しく集い、語りながら前向きにチャレンジするムードをつくる…。その積み重ねの中に、人口減少時代を生き抜く知恵とエネルギーが生まれてくるとの話でした。

最後に、まずは自分自身が伊勢崎市に対する強烈な郷土愛を醸成していくこと。そして、幸せづくりに人々が積極的にコミットでき、そのプロセスを楽しめるようなまちづくりチームをいくつか作っていきたいと思いました。そのためには、

- ✿ 伊勢崎市の歴史・文化を学ぶこと
- ✿ 伊勢崎市の市民ともっと語り合い実態を知ること。
- ✿ 伊勢崎市の市民と交流し、繋がりを広げ、且つ深めること。

をしていきたいと考えました。

八戸市の現地視察、講演会、濃密な 2 日間は、自分を大きく感化させた貴重な時間となりました。ありがとうございました。



以上

第85回全国都市問題会議に参加しての感想文

有志会 田村幸一

期日：令和5年10月12日～13日

会場：八戸市公会堂文化ホール

昨年は長崎市での全国都市問題会議に久しぶりに参加いたしました。次年度は八戸市と聞いて来年も参加しようと決めました。八戸市は10年ほど前、新生クラブ時代に六ヶ所村の日本原燃施設視察の際に訪れましたが、三社まつりの山車を見学したくらいで町並みや行政についての視察はしませんでした。新幹線が八戸市迄延伸したことでさぞかし活気があるのではないかと期待していました。

10月12日の基調講演では東京芸実藝術大学長、日比野勝彦氏はアーティストらしくラフないでたちでアートとは「多様性のある社会を築く基盤」と捉えるべきとお話しされていました。

先生の話聞いて、新潟の妻有ビエンナーレの自由な発想で自然に溶け込んだ作品展示を思い浮かべました。

主報告の八戸市長熊谷雄一氏は準備万端な八戸市の成果を延々と述べられました。

一般報告の長野県東御市長の花岡利夫氏は「標高差1500メートルの地勢を生かしたスポーツ・ツールズムの創出」良かったですね。市長の個性が高地トレーニング場の提供によって、一流のスポーツ選手に利用してもらいながら地域に活性化をもたらそうとする考え方に感銘を受けました。

隣県なので、さっそく視察したいものです

全国都市問題会議には全国の首長が参加するので、思いがけない出会いもあります。今回は昨年7月総務委員会で研修した静岡県島田市市長や北海道北斗市長と席を共にすることができました、高崎市議会参加者とも会合することができ刺激も受けました。来年は姫路市です参加したいと思います。

令和5年11月6日 記

令和 5 年度政務活動費領収書等貼付用紙 24

整理番号

会 派 名	有志会	議員氏名	高橋 宜隆
支出年月日	令和5年11月14日 (第3四半期)	支 出 額	2,541 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使 途 区 分	1. 調査研究費 ② 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考	太田市総合体育館整備事業視察手土産代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 書

有志会 様

2023年 11月 14日

¥ 2,541-

収 入
印 紙

但し

消費税

上記の金額正に領収致しました。

T5070002019143

茶道菓子・式菓子・各種菓子
献上銘菓製造本舗

扱 者 印



有限会社 松 露 庵

〒372-0047 伊勢崎市本町3-21
TEL (0270) 25-0160
FAX (0270) 21-8877

視察等報告書

整理番号

24

会 派 名	有志会	報告者氏名	高橋 宜隆
日 時	令和5年11月15日(水)		
事 項	太田市総合体育館についての視察		
場 所	太田市役所・オープンハウスアリーナ太田(群馬県太田市)		
参加者氏名	田村幸一・堀地和子・小暮笑鯉子・高橋 宜隆		
(目的・理由・内容)			
別紙のとおり			
(成果・所感)			
別紙のとおり			

※(目的・理由・内容)及び(成果・所感)は別途報告様式に替えることができる。
なお、(成果・所感)は、参加者全員が記入する。

視察等報告書

会 派 名	有志会
日 時	令和 5 年 11 月 15 日(水)
事 項	太田市総合体育館整備事業視察
場 所	太田市役所及びオープンハウスアリーナ太田(太田市総合体育館)
参加者氏名	田村幸一、堀地和子、小暮笑鯉子、高橋宜隆、公明党内田彰、介助者 1 名



■ 経緯

太田市運動公園市民体育館は、昭和 56 年 5 月に東毛地区随一の規模を誇る屋内スポーツ施設として整備され、多くの市民に愛用されてきた。

しかしながら、老朽化により施設運営上支障がある状況であった。また、令和元年東日本台風(台風 19 号)では、代替避難所として活用されたが、雨漏り等により避難所対応に課題を残した。

こうしたことから市民体育館の建て替えを実施し、避難所拠点として備蓄品等を充実させ、さらには、スポーツを通じた経済活性化や地域活性化を実現する基盤として市域に効果を発現させ、市民にとって愛着のある地域のシンボルになる施設を目指すこととした。

■ 事業費

【財源内訳】

・地方創生拠点整備交付金	約 1,000,000 千円(内閣府)
・市町村競技別拠点スポーツ施設整備事業補助金	100,000 千円(群馬県)
・企業版ふるさと納税	約 4,400,000 千円(一般企業)
・合併特例事業債等の一般財源	約 2,750,000 千円

【総事業費】 8,250,000 千円

■ 事業期間

令和2年度～令和5年度(4カ年の継続事業)

- ・令和2年4月～6月 設計・施工一括プロポーザル
- ・令和2年8月～令和3年6月 設計業務委託
- ・令和3年6月～令和5年4月 施工

■ 業者選定

設計・施工 一括プロポーザルにて、選定委員会(委員5名)により業者を特定
実績重視で審査

特定事業者 関東・梓特定建設工事共同企業体

■ 運用

群馬クレインサンダーズ(以下、サンダーズ)と協定を結び、様々な展開を実施。

スポーツが「勝敗を競い合うためだけ」のものでなく、「生活を豊かにし、楽しさや、幸福感をもたらしてくれる文化」として、子供達にも認知してもらえるよう、サンダーズによる以下の事業を実施中。

- ① 市内小学校を対象とした『朝の挨拶運動』
- ② 市内中学校を対象とした『部活動支援事業』
- ③ 小中学生公式戦『招待事業』

■ 所感

田村 幸一

かねてから全国的に話題になっている隣接する太田市が建設したアリーナ太田についての研修が実現いたしました。

内閣府や群馬県の補助金、企業版ふるさと納税(大半がオープンハウス)をうまく使ったように思えます。

令和2年に起案事業化して令和5年4月に完成とはすごいスピードです。また、公開プロポーザルが設計・施工一括プロポーザルにて選定委員5名で業者を特定した。このような離れ技をやったのけた関係職員もすごく頑張ったと思います。

応募が地元企業の関東建設・梓特定建設工事共同企業体1社とのことは、公平性や透明性の面で気にかかるところでもあります。

全国的に話題性があるって、最新設備のアリーナは誰が見ても素晴らしいし、羨ましい限りです。運営面はオープンハウス系に任せるとのことですが、感想として経験豊富で、発想豊かな市長の鶴の一声で実現したのか、職員や議会も目標に向かって相乗りしなければ実現不可能と思えました。アリーナの恒常的なランニングコストや使われ方について注視していきたいと思っています。

堀地 和子

担当部局の説明を聞いて建設の背景には 4 つの要因が重なり、トップダウンより進められたものであると理解した。

- 1、既存施設の経年劣化による老朽化と台風 19 号等による自然災害の追い打ち。
- 2、市民にも浸透していた伝統ある地元ラグビーチームが拠点を熊谷市に移したこと。
- 3、地方創生拠点整備交付金という国の時限的なメニューの存在。
- 4、ふるさと寄付の地方創生応援税制による確かな財源の確保が得られたこと。

この 4 点は、直接的な背景であるが、角も早く構想から供用開始まで 4 年という短期で実現した理由は、清水太田市長の人脈、情報収集力の高さ、組織に対する指導力の高さだけでなく、職員の受信能力と行動力、そして市民の理解、このような素地があったからと推察した。

[今後の課題]

近年人気が上がりつつあるバスケットボールであるが、まだまだ国民レベルには浸透していない。この競技をメインに施設運営をする事は、市民への協議の浸透と言う点で大きな課題を持っている。競技人口のこれからの伸びは、脇においてもエンターテイメント性のある演出は、多くのファン獲得へ強力な力となるであろう。県の拠点スポーツ整備事業補助金を得て建設に当たっていると言う点ではバスケットボール競技の県内だけではなく、全国規模、世界規模大会も誘致する計画と聞いている。

プロバスケットボールの観戦に来場する人々が、太田市の財政にどれだけ貢献できるかということ。合わせて市民体育の向上と健康の増進と言う市民体育館が持つ本来の役割をどのように作っていけるかにも注視していきたい。

小暮 笑鯉子

今回の視察で感激したのは、2 点。

1 点目は、総事業費 82.5 億円を実質 2 億円でアリーナを手に入れることができたこと。本当に幸運の連続だったと思わざるを得ないものがある。物価高騰の今、同じアリーナを造るには 120 億円かかると愛知県の自治体職員が言っていたそう。

2 点目は、スピーディにたった 4 年でアリーナが完成できてしまったこと。わずか数ヶ月で申請、認定も早かったとのこと。どんどん推し進めていったそう。

公共事業において、これだけ大きなものが、これだけ短期間に完成させたことは、多くの自治体に大きな刺激となると思われる。太田市長の強く熱い想いが、太田市職員を突き動かし、一致団結した賜物だと感激でした。

高橋 宜隆

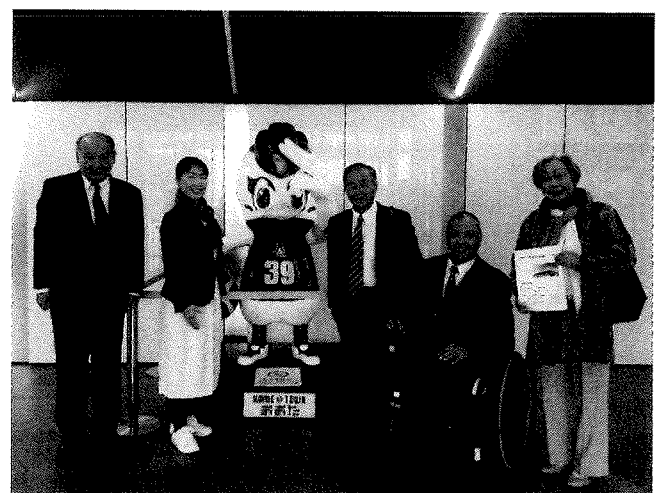
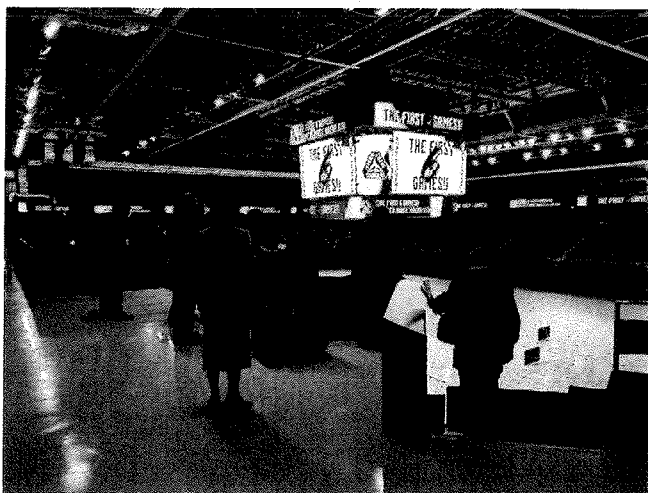
市民体育館の建て替えとラグビーチームが熊谷市に拠点を移すことと、バスケットボールチーム群馬クレインサンダーズの拠点を移す検討をしていたこと、オープンハウスによる企業版ふるさと納税が活用できること、令和6年度まで活用できる合併特例債が活用できること等、様々な事柄がタイミングよく重なったことは、事業成功へ大きなポイントだと感じていました。

この調整を清水太田市長が、上手にまとめたこと。行程が厳しい業務を遂行させてしまう太田市の職員の頑張りも大きかったと思います。

大都市圏にあるようなアリーナを太田市という位置で運用され、これからの収支を注目していくことと、プロバスケットボール以外で太田市民にどのように利用されていくのか、していくべきなのか、太田市と太田市民の意向を今後注視していきたいと思います。

同時に、伊勢崎市の市民体育館及びスポーツ、そして企業とどのように連携していくべきか、アリーナ太田と同様のものを造っても効果的でないと思います。伊勢崎市の地政学と時代と市民が何を必要としているのか、市民の方と考え続けていきたいと思います。

そして、今回、公明党の内田彰議員とも一緒に視察できたことに感謝致します。



第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

令和5年10月17日

有志会 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿

金 18,000 円 (消費税対象外)

第18回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州の参加費として

令和5年10月25日・26日開催 (北九州市)

伊勢崎市議会 小暮 笑鯉子 様

請求書番号 35383241-1-411

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
【預金種別】
【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】 411

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

伊勢崎市議会 堀地 和子 様

請求書番号 35383240-1-411

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月25日・26日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
フォーラム参加費(不課税)		¥9,000	消費税対象外
合計(うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 411

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。



領収証 RECEIPT

登録番号：T8010701012863

有志会 様

No. 2023-8792-00621

発行日：2023年11月30日

下記の金額正に領収いたしました。

¥104,000*

株式会社JTB
北九州支店
北九州市小倉北区堺町1-1-1
JTB小倉ビル7階〒802-0005

2023年10月25日～2023年10月26日

但し ご旅行代金として

(第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

宿泊代金・航空券代金)

※軽減税率対象

取引日	品名	単価	利用数	金額	備考	消費税
	宿泊代金・航空券代金	¥104,000	1	¥104,000		10%
合計				¥104,000		
代金計				(税込)	うち消費税	
				¥104,000	¥9,454	
(10%対象)				¥104,000	¥9,454	

Amarysにより10月18日、銀行振込にて入金

出納責任者	[Redacted]
取扱者	[Redacted]



領収個所名、領収印の無いもの及び金額訂正のものは無効です。

伊勢崎市議会 堀地 和子 様

請求書番号 35383240-2-411

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月24日~27日

請求書

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
宿泊代金		¥20,000	10%
航空券代金		¥32,000	10%
合計(うち消費税)		¥52,000	¥4,727
10%対象小計		¥52,000	¥4,727
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥52,000

* 振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】
【預金種別】
【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】
【口座番号】
【お客様番号】 411

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

伊勢崎市議会 小暮 笑鯉子 様

請求書番号 35383241-2-411

発行日 2023/10/04

取引年月日 2023年10月24日~27日

請求書

株式会社JTB

北九州支店

〒802-0005

福岡県北九州市小倉北区堺町1-1-1

JTB小倉ビル7階

支店長 加倉井 良多

第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。
このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

10月23日(月) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご請求内訳	人数	金額(税込)	税率・税額
宿泊代金		¥20,000	10%
航空券代金		¥32,000	10%
合計(うち消費税)		¥52,000	¥4,727
10%対象小計		¥52,000	¥4,727
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥52,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】 411

*お名前の前にお客様番号をご入力ください。

路線バス等料金支払済調書

支払金額	1,420円
上記の内訳	10/24(火) 北九州空港連絡バス 710円*1回*2人 (北九州空港→小倉駅)
支払年月日	令和5年10月24日
支払先	北九州空港連絡バス運営協議会
利用目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム 参加のため
利用区間	上記の内訳のとおり
利用者氏名	堀地和子・小暮笑鯉子
その他	

上記のとおり路線バス等を利用し、支払いをしましたが、領収書が発行されないので本書を作成します。

令和5年10月24日

会派名 伊勢崎市議会 有志会
作成者氏名 経理責任者 小暮 笑鯉子

※本調書の作成者は、当該路線バスの利用者又は経理責任者とする。

路線バス等料金支払済調書

支払金額	7,530円
上記の内訳	本庄児玉ICから空港中央西料金所間の高速代(往復)
支払年月日	令和5年10月24(火)、10月26日(木)～27日(金)
支払先	ネクスコ東日本、首都高速道路
利用目的	第18回全国市議会議長会研究フォーラム 参加のため
利用区間	上記の内訳のとおり
利用者氏名	堀地和子・小暮笑鯉子
その他	夜遅くのフライト時間を考慮し、公共交通機関の利用ではなく、それと比較して安価である自家用車移動としETCを利用したため。

上記のとおり路線バス等を利用し、支払いをしましたが、領収書が発行されないので本書を作成します。

令和5年10月27日

会派名 伊勢崎市議会 有志会
 作成者氏名 経理責任者 小暮 笑鯉子



※本調書の作成者は、当該路線バスの利用者又は経理責任者とする。

ETC利用明細

23/10/24	23/10/24		
16:30	17:35		
本庄児玉	練馬	2,260	
23/10/24	23/10/24	(1,040)	
17:40	17:56	(-610)	
大泉	美女木第二	430	
23/10/24	23/10/24		
17:58	18:39		
美女木上	空港中央西	1,460	
23/10/26	23/10/26		
23:44	23:54		
空港中央西	大師上	480	
23/10/27	23/10/27	(1,350)	
00:01	00:32	(-270)	
大師上	高島平	1,080	
23/10/27	23/10/27	(520)	
00:39	00:43	(-280)	
和光北第二	大泉	240	

【往路】本庄児玉→空港中央西:①+②+③
 =4,150円

①

②

③

【復路】空港中央西→本庄児玉:④+⑤+⑥+⑦
 =3,380円

④

⑤

⑥

23/10/24	23/10/24	(1,040)	
17:40	17:56	(-610)	
大泉	美女木第二	430	
23/10/24	23/10/24		
17:58	18:39		
美女木上	空港中央西	1,460	
23/10/26	23/10/26		
23:44	23:54		
空港中央西	大師上	480	
23/10/27	23/10/27	(1,350)	
00:01	00:32	(-270)	
大師上	高島平	1,080	
23/10/27	23/10/27	(520)	
00:39	00:43	(-280)	
和光北第二	大泉	240	
23/10/27	23/10/27	(2,260)	
00:45	01:20	(-680)	
練馬	本庄児玉	1,580	

⑦

合計利用金額 : 7,530円

駐車場代

24時間営業 ↑

駐車券・領収書

一般財団法人 空港振興・環境整備支援機構
課税事業者登録番号: T1011105005394
東京国際空港第2駐車場
TEL. 03-5757-9498

【ご案内】

1. 本券を折り曲げたり、濡らしたり、磁気に近づけたりしないでください。
2. 14日を超えて駐車する場合は事前に届出の提出が必要です。
3. その他、裏面の注意事項をご覧ください。

金額 ..4560円 領収いたしました

21 23-10-26 23:41

全て消費税10%適用対象

1239
A10月24日15時52分 006371 02

第18回

全国市議会議長会 研究フォーラム



日本新三大夜景都市全国1位

National Association of Chairpersons of City Councils

開催のご案内

▶参加申込み期間

[議長を含めたすべての対象者のお申込み]

8月7日(月)10時00分～8月18日(金)17時00分

開催日：令和5年10月25日(水)・26日(木)

場所：西日本総合展示場 新館

主催：全国市議会議長会 後援：総務省(予定)

協賛：全国市議会議員互助会 (有)都市企画センター

実施：第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

◆ 開催概要



日 時	第1日目：令和5年10月25日(水) 13時00分開会（開場・受付12:00） 第2日目：令和5年10月26日(木) 9時00分開会（開場8:30）
場 所	フォーラム会場：西日本総合展示場 新館 福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1 意見交換会会場：リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」 福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2 ※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第18回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題
定 員	2,500名（予定） ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わず参加が決定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ 会場のお席については、本年は指定席ではなく、自由席とする予定です。 ※詳細は、P.8～P10「参加申込のご案内」をご参照ください。
参加費	1人 9,000円
備 考	今後の感染状況に応じて、中止等の場合があります。

◆タイムスケジュール



第1日 10月25日(水) [会場：西日本総合展示場 新館]

- 12:00 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 第1部 基調講演
「躍動的でワクワクする市議会に」(予定)
片山 善博 大正大学教授兼地域構想研究所長
- 14:20 休憩
- 14:40 第2部 パネルディスカッション
「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」(予定)
コーディネーター 谷 隆徳 日本経済新聞編集委員
パネリスト 勢一 智子 西南学院大学法学部教授
辻 陽 近畿大学法学部教授
濱田 真理 Stand by Women代表
女性議員のハラスメント相談センター共同代表
鷹木 研一郎 北九州市議会議長
- 16:40 次期開催地挨拶
- 16:50 終了
- 17:15 第3部 意見交換会 [リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」]
- 18:15 意見交換会終了
- 18:30 視察Ⅱ



第2日 10月26日(木) [会場：西日本総合展示場 新館]

- 8:15 開場
- 9:00 第4部 課題討議
「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」(予定)
コーディネーター 江藤 俊昭 大正大学社会共生学部公共政策学科教授
事例報告者 辻 弘之 登別市議会議長
たぞえ 麻友 一般社団法人WOMAN SHIFT理事
目黒区議会議員
永野 慶一郎 枕崎市議会議長
- 11:00 閉会式
- 11:30 第5部 視察Ⅲ

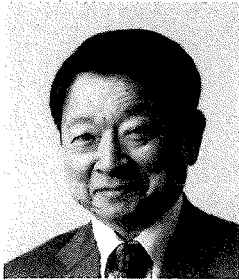
※登壇者は、変更になる場合もございます。

※希望者は10月24日(火)の視察Ⅰにも参加が可能です。(詳細はP.13をご覧ください。)

◆ 講師プロフィール



基調講演



講師

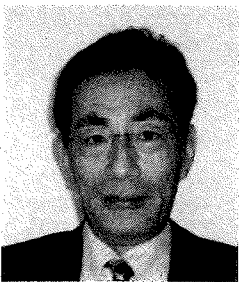
かたやま よしひろ

片山 善博

大正大学教授兼地域構想研究所長

1951年岡山市生まれ。1974年 東京大学法学部卒業、自治省入省。国税庁能代税務署長、自治省国際交流企画官、自治用固定資産税課長などを経て、1999年 鳥取県知事。2007年 慶應義塾大学教授。2010年 総務大臣。2017年 早稲田大学大学院教授。2022年 大正大学教授兼地域構想研究所長。併せて、鳥取大学客員教授、デジタル文化財創出機構理事、角川文化振興財団評議員などを務める。【主な著書】「知事の真贋」/2020（文藝春秋）、「片山善博の自治体自立塾」/2015（日本経済新聞出版社）など。

パネルディスカッション



コーディネーター

たに たかのり

谷 隆徳

日本経済新聞編集委員

1961年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。2005年から地方部編集委員、06年から13年間論説委員を兼務。現在は編集局編集委員。総務省、国土交通省、都庁などを担当し、地方行財政全般のほか、地方分権、まちづくり、都市政策などを長年取材。全国知事会地方分権研究会委員、総務省過疎地域優良表彰制度審査委員などを歴任。共著に「列島破産」「さらば東京」「住民サービスここが一番」（ともに日本経済新聞社）など。現在、自治体向け雑誌・日経グローバルで「地方自治を考える」を連載中。



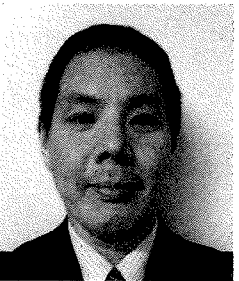
パネリスト

せいいち ともこ

勢一 智子

西南学院大学法学部教授

山口県下関市出身。1998年3月九州大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学、同年4月に西南学院大学法学部専任講師に着任、同助教授を経て、2007年より現職。専門分野は、行政法、環境法、地方自治法。国の審議会等では、第31・32次地方制度調査会委員、地方分権改革有識者会議議員、同提案募集検討専門部会構成員、同計画策定ワーキンググループ座長、国地方係争処理委員会委員、地方公共団体金融機構経営審議委員、中央環境審議会委員などを務める。



パネリスト

つじ あきら

辻 陽

近畿大学法学部教授

1977年大阪府生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程退学。博士（法学）。近畿大学法学部講師、准教授を経て、2016年4月より現職。専門は政治学、行政学、地方自治論。特に地方議会と首長をめぐる政治制度に強い関心をもつ。著書に『日本の地方議会—都市のジレンマ、消滅危機の町村』（中公新書、2019年）、『戦後日本地方政治史論—二元代表制の立体的分析』（木鐸社、2015年）、共著書に『テキストブック地方自治（第3版）』（東洋経済新報社、2021年）など。



パネリスト

はまだ まり

濱田 真理

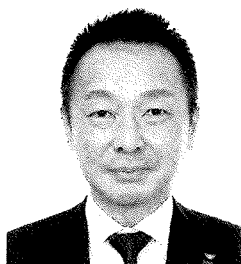
Stand by Women代表

女性議員のハラスメント相談センター共同代表

専門は議員に対するハラスメント。2021年に女性による女性議員・候補者の選挙サポートを行う団体Stand by Womenを設立。これまでに100人以上の議員や候補者に対するハラスメントのヒアリングや相談対応を実施。内閣府「令和3年度政治分野におけるハラスメント防止研修教材」等の作成に関する検討会構成員。2022年に子育て中の立候補をサポートする「こそで選挙ハック！プロジェクト」を開始。2023年に4月の統一地方選挙に向けて日本初の議員向け相談窓口「女性議員のハラスメント相談センター」を設立。



パネルディスカッション



パネリスト

たかき けんいちろう

鷹木 研一郎 北九州市議会議員

1971年生まれ。北九州市立大学地域創生学群地域創生学類卒業。平成17年2月から北九州市議会議員を務め、連続5回当選。現在5期目。その間、教育水道委員会委員長、議会運営委員会委員長、予算特別委員会委員長、議会改革協議会座長を歴任。令和3年2月から、第23代北九州市議会議員に就任。

議員活動の傍ら、地域によりそいながら消防団員、保護司、学校評議員、スポーツ少年団顧問、北朝鮮に拉致された日本人を救出する福岡の会など、幅広くさまざまな活動を行っている。

課題討議



コーディネーター

えとう としあき

江藤 俊昭

大正大学社会共生学部

公共政策学科教授

中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学、博士（政治学）。第29次・第30次地方制度調査会委員、「町村議会のあり方に関する研究会」委員（総務省）、全国町村議会議長会「議員報酬等のあり方に関する研究会」委員長、全国市議会議長会90年史編纂委員会有識者会議座長、等を歴任。現在、マニフェスト大賞審査委員、全国町村議会議長会「町村議会議員のなり手不足対策検討会」委員、議会サポーター・アドバイザー（滝沢市、四日市ほか多数）。『月刊 ガバナンス』などで連載中。



事例報告者

つじ ひろし

辻 弘之

登別市議会議員

1981年生。大阪府豊中市出身。北海道大学公共政策大学院修了。社会福祉士・精神保健福祉士・社会教育士・防災士。

阪神淡路大震災での被災経験から社会福祉の道を志し、北海道登別市内にて医療ソーシャルワーカーとして就職。公的扶助の運用課題の解決を目指し、26歳で初当選。現在5期目。各委員長、監査委員等を歴任し、議長として早稲田大学マニフェスト研究所の議会改革度ランキング全国1位に導く。2023年統一地方選挙後、議長に再任。



事例報告者

まゆ

たぞえ 麻友

一般社団法人WOMAN SHIFT理事

目黒区議会議員

1982年東京都目黒区生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。在学中にヨハネスブルグサミットに参加。経営コンサルティング会社就職中に3人の子どもを出産。保育園問題やマミートラックに悩む。2015年、実母の末期がん発覚を契機に、退職と出馬を決意。目黒区議会議員選挙に出馬、当選。WOMAN SHIFTの立ち上げから参画し、現在は理事。2023年、三度目の当選。現在は子育て支援、教育、DX、環境などの政策を展開。児童虐待問題については共著「子どもの虐待はなくせる！」を出版。



事例報告者

ながの けいいちろう

永野 慶一郎

枕崎市議会議員

1971年12月生まれ。鹿児島市立鹿児島商業高校を卒業。2013年度枕崎商工会議所青年部会長、鹿児島県商工会議所青年部連合会副会長。イベントの企画・運営やまちづくり事業に携わり、2015年4月市議会議員選挙において初当選、以来連続3回当選。現在3期目。2019年5月から総務文教委員長、2021年5月第46代枕崎市議会議員に就任。改選を経て2023年5月第47代枕崎市議会議員に再任。「無投票・定数割れからいかに回復するか 無投票選挙の克服をめざした4年の歩み」地方議会人2022年12月号。

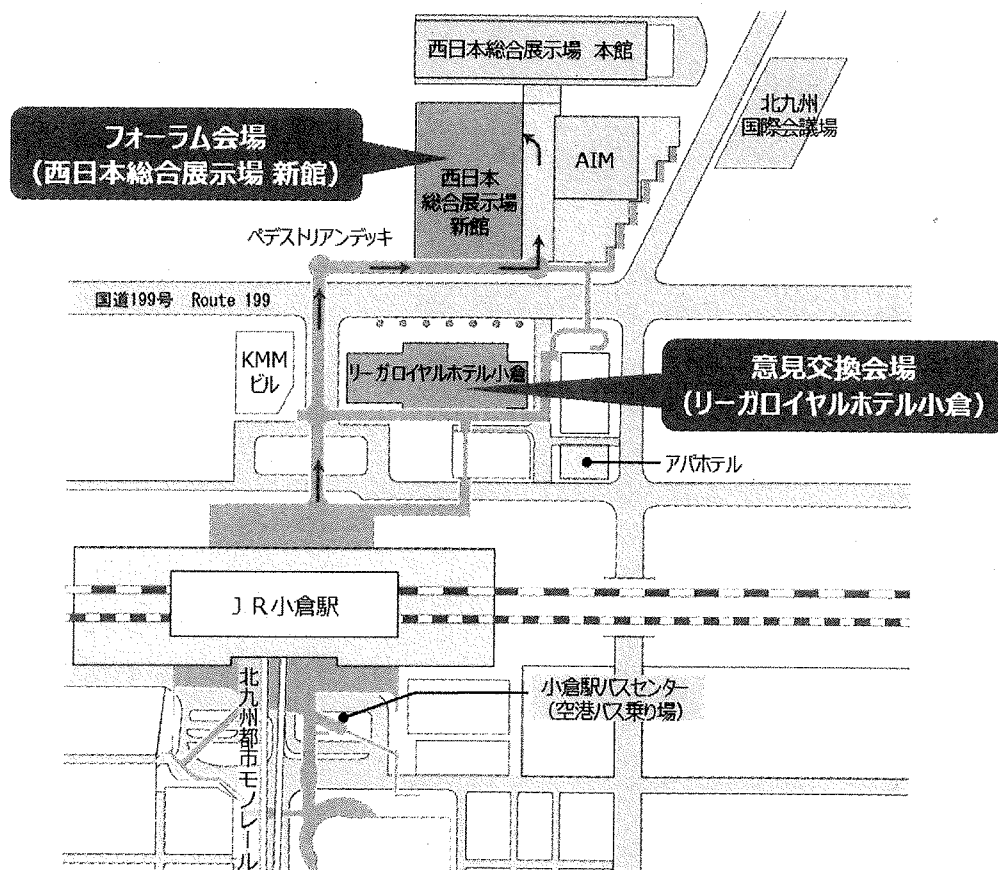
◆会場へのアクセス



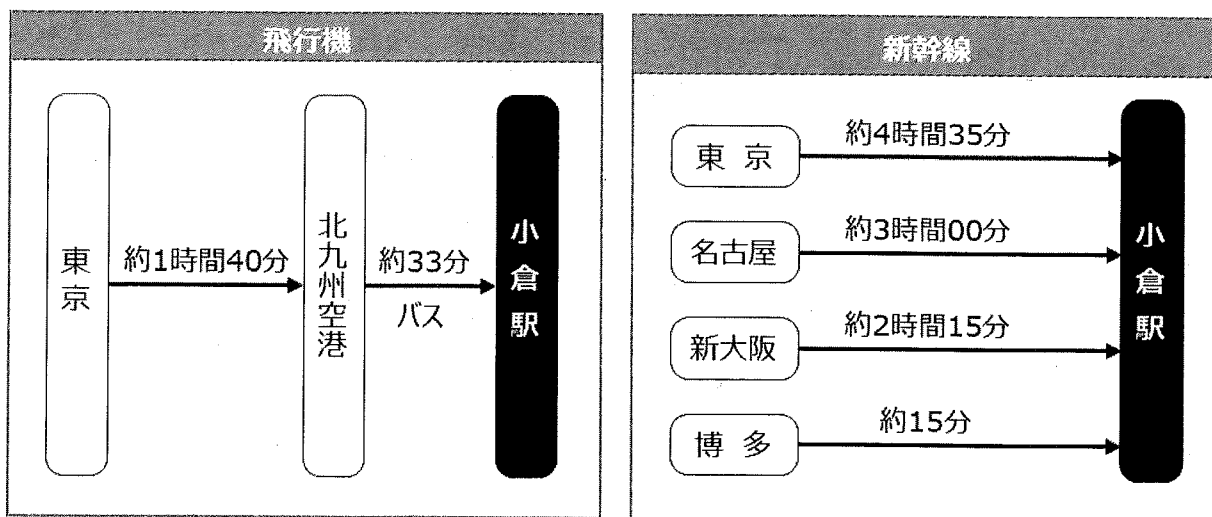
●会場位置図

フォーラム会場 : 西日本総合展示場 新館 (福岡県北九州市小倉北区浅野3-8-1)
 意見交換会会場 : リーガロイヤルホテル小倉 4階「ロイヤルホール」(福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-2)

J R小倉駅からペDESTリアンデッキを経由して徒歩5分。雨の日も濡れず、スムーズにご移動いただけます。



●北九州市へのアクセス



※研究フォーラム参加者専用バスの運行はありません。

●会場駐車場

駐車場は確保していません。

(参考) 西日本総合展示場本館駐車場 最大500円/24時間

◆ 宿泊プランのご案内 (募集型企画旅行契約)



本フォーラムのご参加者様に向けた宿泊プランを設定させていただきました。**宿泊のみの申込も可能です。**

宿泊設定日：2023年10月24日(火)、25日(水)、26日(木) ※最大で3泊分ご用意できます。

宿泊条件：1泊朝食付(税金・サービス料込) お一人様一泊あたりの金額となります。

- 朝食がホテルによる無料サービスの場合があります。下表の朝食条件にて確認ください。
- 禁煙・喫煙のご指定はお受けできませんので、あらかじめご了承ください。

添乗員：同行いたしません。各自チェックインとなります。

最少催行人員：1名様

- 募集型企画旅行*旅行条件書(P.27)を事前にご確認のうえ、お申込みください。
- 宿泊プランをご利用の際は、P.8の「お申込みに際しての留意点」を事前にご確認の上、お申込みください。
- お車でお越しの場合は、各ホテルとも駐車場料金が掛かります。あらかじめご了承ください。(駐車場がないホテルもございますので、ご了承ください。) なお、駐車場の予約は承っておりませんのでご了承ください。

番号	地区	ホテル名	JR最寄駅	最寄駅からの所要時間	ホテルから会場までの所要時間	朝食条件	宿泊料金(一人あたり)	部屋タイプ(1名利用)	申込記号
①	小倉	リーガロイヤルホテル小倉	小倉駅	徒歩 約3分	徒歩 約5分	朝食付	19,000円	ツイン	01-T
②	小倉	JR九州ステーションホテル小倉	小倉駅	駅直結	徒歩 約10分	朝食付	19,000円	シングル	02-S
							19,500円	ツイン	02-T
③	小倉	東横INN小倉駅新幹線口	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約5分	朝食付	7,500円	シングル	03-S
④	小倉	コンフォートホテル小倉	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約10分	無料サービス	8,500円	ダブル	04-D
							10,000円	ツイン	04-T
⑤	小倉	東横INN小倉駅南口	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約10分	無料サービス	7,500円	シングル	05-S
⑥	小倉	西鉄イン小倉	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約15分	朝食付	10,000円	シングル	06-S
⑦	小倉	ホテルテラ北九州	小倉駅	徒歩 約10分	徒歩 約15分	朝食付	11,000円	シングル	07-S
							11,500円	ダブル	07-D
							12,000円	ツイン	07-T
⑧	小倉	ホテルクラウンヒルズ小倉	小倉駅	徒歩 約15分	徒歩 約20分	朝食付	9,000円	シングル	08-S
⑨	小倉	アートホテル小倉ニュータガワ	小倉駅	徒歩 約15分	徒歩 約20分	朝食付	12,500円	シングル	09-S
							15,000円	ツイン	09-T

宿泊プランのご案内 (募集型企画旅行契約)



番号	地区	ホテル名	JR最寄駅	最寄駅からの 所要時間	ホテルから 会場までの 所要時間	朝食条件	宿泊料金 (一人あたり)	部屋タイプ (1名利用)	申込記号
⑩	小倉	ダイワロイネットホテル小倉駅前	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約15分	朝食付	18,000円	シングル	10-S
							19,000円	ツイン	10-T
⑪	小倉	ホテルクラウンパレス小倉	小倉駅	徒歩 約15分	徒歩 約25分 車 約10分	朝食付	10,000円	シングル	11-S
⑫	小倉	小倉リーセントホテル	西小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約30分 車 約10分	朝食付	9,000円	シングル	12-S
							11,000円	ツイン	12-T
⑬	小倉	サンスカイホテル小倉	小倉駅	徒歩 約35分 車 約15分	徒歩 約30分 車 約10分	朝食付	9,500円	シングル	13-S
⑭	小倉	THE STEEL HOUSE	西小倉駅	徒歩 約15分	車 約15分	朝食付	9,500円	シングル	14-S
							11,000円	ダブル	14-D
							13,000円	ツイン	14-T
⑮	小倉	HOTEL AZ 北九州小倉店	西小倉駅	車 約15分	車 約15分	無料サービス	6,500円	シングル	15-S
							8,000円	ツイン	15-T
⑯	小倉	スーパーホテル小倉駅南口	小倉駅	徒歩 約5分	徒歩 約15分	無料サービス	10,000円	シングル	16-S
⑰	黒崎	西鉄イン黒崎	黒崎駅	徒歩 約3分	車 約35分	朝食付	8,500円	シングル	17-S
⑱	黒崎	コンフォートホテル黒崎	黒崎駅	徒歩 約5分	車 約35分	無料サービス	7,500円	ダブル	18-D
⑲	黒崎	アルクイン黒崎本館	黒崎駅	徒歩 約5分	車 約35分	無料サービス	8,500円	シングル	19-S
⑳	黒崎	アルクイン黒崎PLUS	黒崎駅	徒歩 約5分	車 約35分	無料サービス	9,500円	シングル	20-S
㉑	黒崎	ホテルクラウンパレス北九州	黒崎駅	徒歩 約20分 車 約10分	車 約40分	朝食付	8,500円	シングル	21-S
㉒	八幡	HOTEL AZ 北九州八幡店	八幡駅	徒歩 約5分	車 約30分	朝食付	6,000円	シングル	22-S
							8,000円	ツイン	22-T
㉓	門司港	プレミアホテル門司港	門司港駅	徒歩 約5分	車 約30分	朝食付	29,000円	ツイン	23-T
㉔	門司港	ホテルルートイン門司港	門司港駅	徒歩 約15分 車 約5分	車 約25分	無料サービス	8,500円	シングル	24-S
㉕	若松	ホテルルートイン北九州若松駅東	若松駅	徒歩 約5分	車 約30分	無料サービス	8,000円	シングル	25-S

◆ 航空便 + 宿泊セットプランのご案内



本フォーラムのご参加者様に向けた、航空便 + 宿泊セットプランを設定させていただきました。鉄道を伴うプランはありません。

羽田空港・北九州空港間の日本航空（JAL）便のみの設定となります。

航空便設定日：【往路】2023年10月24日(火)・25日(水) 【復路】10月26日(木)・27日(金)

※ 航空便 + 宿泊セットプランにつきましては、特別料金を設定しておりますので下記条件をご確認ください。

【航空便 + 宿泊セットプラン料金適応条件】

- 必ず、航空便だけでなく、宿泊も同時にご予約ください。航空便のみのご予約は受付できません。（P22の宿泊申込みのご案内をご参照ください。）
- 下表の各便において、最少催行人員は5名です。各便においてお申込みの合計が5名に満たなかった場合、他の割引運賃または個人普通運賃のご案内となりますのであらかじめご了承ください。

【セットプランのご留意点】

- ご案内する航空便は、団体運賃となりますので、JALマイレージプログラム積算対象外となります。
- 座席のご要望はお受けできません。
- 航空便の座席数につきましては数に限りがございますので宿泊と同様、ご抽選結果に基づきご連絡をいたしますので、ご希望に沿えない場合もございます。必ず第2希望までご記入ください。

※ 航空便のご希望に沿えない場合、下表に記載のないご希望日前日出発の航空便や翌日到着の航空便着便のご案内する場合がございます。あらかじめご了承ください。

【料金算出について】

利用される航空便の料金と、宿泊ホテルの料金（泊数分）を足した料金が合計料金となります。

（例）10月25日（水）JAL373便利用（羽田空港8:00発）	¥ 25,000	
10月25日（水）リーガロイヤルホテル小倉宿泊	¥ 19,000	合計 ¥ 60,000
10月26日（木）JAL376便利用（北九州空港16:25発）	¥ 16,000	

■ 往路：羽田空港⇒北九州空港

申込記号	往路搭乗日	出発地	出発時間	到着地	到着時間	航空会社	便名	料金
A-1	10月24日（火）	羽田	14:00	北九州	15:40	JAL	375	¥16,000
A-2	10月24日（火）	羽田	18:40	北九州	20:20	JAL	377	¥16,000
A-3	10月24日（火）	羽田	20:30	北九州	22:15	JAL	379	¥16,000
A-4	10月25日（水）	羽田	8:00	北九州	9:50	JAL	373	¥25,000

■ 復路：北九州空港⇒羽田空港

申込記号	復路搭乗日	出発地	出発時間	到着地	到着時間	航空会社	便名	料金
B-1	10月26日（木）	北九州	16:25	羽田	17:55	JAL	376	¥16,000
B-2	10月26日（木）	北九州	21:00	羽田	22:30	JAL	378	¥16,000
B-3	10月27日（金）	北九州	16:25	羽田	17:55	JAL	376	¥18,000

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

堀地 和子 様
3538324-0-411

申込内容確認書

以下手配内容を記載させていただきますのでご確認をお願い申し上げます。

●フォーラム

開催日	申 込
10月25日(水)・26(木)	ご 参 加

●視察（兼視察コース参加券）

催行日	コース名	記号
視察Ⅰ 10月24日(火)		
視察Ⅱ 10月25日(水)		
視察Ⅲ 10月26日(木)		

●宿泊

宿泊日	ホテル名	部屋タイプ	記号
10月24日(火)	西鉄イン小倉	シングル	06-S
10月25日(水)	西鉄イン小倉	シングル	06-S
10月26日(木)			

●航空便

搭乗日	区間・便名	記号
10月24日（火）	JAL379便 羽田発 20:30 ⇒ 北九州着 22:15	A-3
10月26日（木）	JAL378便 北九州発 21:00 ⇒ 羽田着 22:30	B-2

※視察コースに参加の方は、当日、この申込内容確認書を係員にご提示ください。集合場所は「参加のご案内」9ページに記載しております。

※宿泊チェックインの際に、この申込内容確認書をフロントにご提示ください。宿泊確認書等はございません。

※航空便お申込みの方は、搭乗当日に集合場所で搭乗券をお渡しいたします。集合場所は「参加のご案内」5ページに記載しております。

株式会社JTBビジネストラנסフォーム
「第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州」係
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル6階
TEL：03-5949-1347 / FAX：03-5396-8140 / Eメールアドレス：forum2023@jbx.jtb.jp
受付時間：平日10時00分～17時00分(土日・祝祭日は休業)

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州

小暮 笑鯉子 様
3538324-1-411

申込内容確認書

以下手配内容を記載させていただきますのでご確認をお願い申し上げます。

●フォーラム

開催日	申 込
10月25日(水)・26(木)	ご 参 加

●視察（兼視察コース参加券）

催行日	コース名	記号
視察Ⅰ 10月24日(火)		
視察Ⅱ 10月25日(水)		
視察Ⅲ 10月26日(木)		

●宿泊

宿泊日	ホテル名	部屋タイプ	記号
10月24日(火)	西鉄イン小倉	シングル	06-S
10月25日(水)	西鉄イン小倉	シングル	06-S
10月26日(木)			

●航空便

搭乗日	区間・便名	記号
10月24日 (火)	JAL379便 羽田発 20:30 ⇒ 北九州着 22:15	A-3
10月26日 (木)	JAL378便 北九州発 21:00 ⇒ 羽田着 22:30	B-2

※視察コースに参加の方は、当日、この申込内容確認書を係員にご提示ください。集合場所は「参加のご案内」9ページに記載しております。

※宿泊チェックインの際に、この申込内容確認書をフロントにご提示ください。宿泊確認書等はございません。

※航空便お申込みの方は、搭乗当日に集合場所で搭乗券をお渡しいたします。集合場所は「参加のご案内」5ページに記載しております。

株式会社JTBビジネストラנסフォーム
「第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州」係
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-23-14 ダイハツ・ニッセイ池袋ビル6階
TEL：03-5949-1347 / FAX：03-5396-8140 / Eメールアドレス：forum2023@jbx.jtb.jp
受付時間：平日10時00分～17時00分(土日・祝祭日は休業)

視察等報告書

整理番号 26

会 派 名	有志会	報告者氏名	堀地 和子
日 時	令和5年10月24日(火)～26日(木)		
事 項	第18回全国市議会議長会研究フォーラムin北九州参加		
場 所	西日本総合展示場新館(福岡県北九州市)		
参加者氏名	堀地 和子・小暮 笑鯉子		
(目的・理由・内容)			
別紙のとおり			
(成果・所感)			
別紙のとおり			

※ (目的・理由・内容) 及び (成果・所感) は別途報告様式に替えることができる。
なお、(成果・所感) は、参加者全員が記入する。

報告者	有志会 堀地和子
期 間	2023年10月25日(水)・26日(木) (2日間)
訪問先	第18回全国市議会議長会研究フォーラム(福岡県北九州市) 会場：西日本総合展示場新館
テーマ	統一地方選挙の検証と地方議会の課題

目的 議員のなり手不足や投票率の低下が全国的課題である中、政治離れの原因と対策の最新情報に触れることで課題解決のヒントを得て、議会改革を推進し、地域社会の活力アップに資する活動をするために参加。

行程 市役所⇄車・高速利用⇄羽田空港⇄北九州空港⇄バスにて小倉駅
※往復同ルート（当日開催時間の都合上前泊）

内容と感想

基調講演 「躍動的でワクワクする議会に」

●片山氏は「現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと」に触れ、予算を丁寧に審議する、公聴会の開催、答弁を求めるのではなく、関係者を呼び意見を聞く。議案の裏を取る事をの大切さを示唆。こうしたことを定例議会の中で行うのは、常任委員会や特別委員会による閉会中審査を活発化することでも可能と考えるが、現在の議会日程では難しい。一般議案はともかく予算・決算の審議は改善が必要である。議会改革の一つのテーマにしたい。

パネルディスカッション 「統一地方選挙と地方の課題」

- コーディネーターは日経新聞編集委員の谷隆徳氏。各分野4人のパネリストが登壇し4月の地方統一選挙を振り返る。
- 西南学院大学教授・勢一智子教授は、人口減少における地方議会には多様な人材の参画が必要であり、地方議会を地域社会の鏡という視点から見たとき議員構成がそれを反映しているのかという疑問を提示。データによる裏付けは流石に研究者である。
- 近畿大学の辻陽教授は議員のなり手不足の問題を、小規模自治体では議員報酬や政務活動費の低さが課題。大規模自治体では人口規模が大きいほど政党化しやすい傾向がある。また、政務活動費を広報費に使えるので現職が有利と分析。これからの政務活動では、広報は議会だよりの充実で対応し、利害関係者や市民の声を聴く広聴活動に力を入れる必要を感じた。

●濱田真里氏は、議員のハラスメント相談センター共同代表の立場から、ハラスメントに関する条例制定や相談体制や議会内のルール作りが必要であると発言。有権者からのハラスメントの一つに「住所公開によるプライバシーの侵害」をあげていたが、議員になるならプライバシーは捨てる覚悟とっていたので自分には、唯一この点が腑に落ちない。

●北九州市議会議長の田中常郎は、北九州市議会の取組みを紹介。議員とのかたるカフェトークは報告会・公聴会という堅苦しいものでなくても十分に有権者と膝を交えるヒントになった。議員立法の提出も盛んで、特徴ある5市が対等合併して誕生した北九州市、合併60周年の熱意とやる気が伝わってきた。

課題討議 「議員のなり手不足問題への取組み報告」

●フォーラムのレギュラーともいえる江藤俊昭教授がコーディネーターとなり、3人が事例報告。報告に先立ち江藤氏が触れたことは、議員のなり手不足は住民自治の劣化、国政を侵食する草の根民主主義の衰退であり、地域民主主義の劣化は国政の劣化に連動すると指摘。議会が多様性を持つことは、お任せ民主主義の風潮が市民社会を自ら崩壊させていることへ警鐘が必要であり、その鳴らし方は議会改革を通して行うのが議員の使命の一つと受け止めた。

●登別市議会議長、辻弘之氏の報告は、地方議員養成講座によりなり手を育てるというもの。多様なマイノリティーの参加が社会を強くするという哲学に共感する。効率性の優先は民主主義の趣旨に反するのではないかと思う。

●目黒区議会議員たぞえ麻友氏は、女性の政治参画を推進するWOMAN SHIFTの理事でもることから、届きにくい女性の声を政治につなげるために、住所非公開と旧姓使用を挙げたのが印象に残った。先にも触れたが、旧姓使用は了としても、住所非公開は公人として覚悟という点で納得し難いものがある。

●枕崎市議会議長の永野敬一郎氏は、無投票選挙を克服する過程を報告。アンケートで選挙の負担を感じるというのが理由の一番であることに共感をおぼえた。また、議員間討議がやり易いよう議場の議員席が馬蹄形になっている点も興味深かった。

その他感想

約2400名が参加し充実した内容であった。本市では今のところ議員のなり手不足はないが、投票率が県内最下位が定席となりつつある現状で、参加2名は残念。議長や議運、議会改革特別委員会メンバーは参加すべきと感じた。

視察研修の意見・感想

会 派 名	伊勢崎市議会 有志会
報 告 者	小暮笑鯉子
研 修 年 月 日	令和 5 年 10 月 25 日(水)、26 日(木)
研 修 名	<p>第 18 回全国市議会議長会研究フォーラム in 北九州</p> <p>■第 1 日目 基調講演：躍動的でワクワクする市議会に パネルディスカッション テーマ「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p> <p>■第 2 日目 課題討議： テーマ「統一地方選挙の検証と地方議会の課題」</p>
参 加 者	堀地和子、小暮笑鯉子(報告者) (合計 2 名)

目次:

■第 1 日目	2
1.1 基調講演：躍動的でワクワクする市議会に.....	2
1.2 パネルディスカッション：統一地方選挙の検証と地方議会の課題	3
■第 2 日目	5
1.3 課題討議：統一地方選挙の検証と地方議会の課題.....	5
■所感	10

■第1日目

1.1 基調講演：躍動的でワクワクする市議会に

大正大学教授兼地域構想研究所長 片山 善博

●地方議会をめぐる現状とこれまでの地方議会改革を検証

・地方議会は岐路に立ってるのでは？
→【決める機関】と【執行する機関】

・議会が最高決定機関！→今、存在感が薄くなってきている。主権者の住民が関心がないというのは、由々しき事態。

↓↓↓

QUESTION: 何が足りないのか？

QUESTION: どう考えていったら良いのか？



●日本の地方議会にかけていることは何か？

・議会がカタイ → DX? GX?

X…ガラリと変える！体質・風土を変える！

役所の透明化！組織風土を変える！職員が住民の意見を聴きながら、社会の常識を変える！→議会改革？

⇒議会 DX をやってきたけど、何をやれば良いのか？

住民の目線で見ると、かけているところがある。

- ① 議場での真剣なやりとり…きちんとした議論がない。
- ② 税の議論がない。
- ③ 住民の声が聞こえていない。海外と比較すると差がある。

デキレースになっている。八百長？⇒対立ではなく日常的な出来事としてやってほしい。予算がなければ、税率を上げればよいのでは？例)5年間だけ固定資産税率 1.4 を 1.5 に変えるなど。例)委員会提案議案など。

●現行の議会の権限を活用してもっと積極的に取り組むべきこと

予算は1つ1つ丁寧に議論して下さい。もっと議案を丁寧に審議する。執行部の議案を鵜呑みにしない。裏をとる。

●議会の常識と市民の常識をすり合わせるー市民が首を傾げることは？

- ・市民の意見を聴く場を作った方が良い！
- ・どうして議会は裏をとらないのか？
- ・議会でアンケートをすれば良い。
- ・余談：教育委員会にもっと目を配ってほしい。日本の未来を育てるところ。
先生方が疲弊している。いじめ、不登校 30 万人。
先生があまりにも忙しすぎる。ブラック職場。民間企業との関りを増やし、先生方の負担を減らす！
地方単独で予算組んでやる！！ 社外取締役！！県教育委員会にモノが言えるかどうか！！例)島根県議会は、ギロンはあったが、対立なし。

1.2 パネルディスカッション：統一地方選挙の検証と地方議会の課題

コーディネーター 日本経済新聞編集委員 谷 隆徳

パネリスト 西南学院大学法学部教授 勢一 智子

近畿大学法学部教授 辻 陽

Stand by Women 代表・女性議員のハラスメント相談センター共同代表 濱田 真理

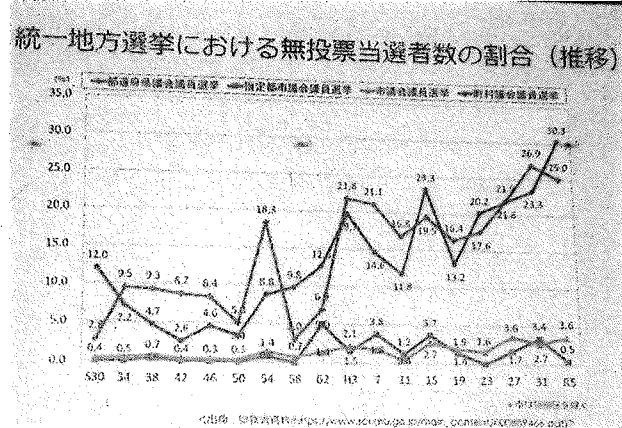
北九州市議会議長 田仲 常郎

【ポイント】

- 人口減少社会の本格的到来が地域にもたらすもの
 - ⇒我が国の総人口は、2008 年をピークに減少に転じており、今後も人口減少が加速するものを推計されている。東京圏、沖縄県など 9 都府県以外においては、人口減少が続いている。急速な人口減少が！
 - ⇒人口構造と議員構成がマッチしていない！
- 第 33 次地方制度調査会「多様な人材が参画し、住民に開かれた地方議会の実現に向けた対応方策に関する答申」(2022 年 12 月 28 日)
 - ・人口構造と議員構成がマッチしていない！
 - ⇒今後、人口構造は大きく変容し、大都市圏を含め、全国的に人口減少と高齢化が進行する。地方公共団体の経営資源がますます制約される一方、住民ニーズや地域課題は多様化・複雑化し、地域において合意形成が困難な課題が増大することが見込まれるが、そのような中で、資源制約を乗り越え、持続可能で個性豊かな地域社会を形成していくためには、地域の多様な民意を集約

し、広い見地から個々の住民の利害や立場の近いを包摂する地域社会のあり方を議論する議会の役割がより重要となる。

⇒現在、議員の構成は、住民の構成と比較して、女性や60歳未満の割合が極めて低いなど、多様性を欠く状況が続いている。近年の地方議会議員選挙においては、投票率の低下や無投票当選の増



加の傾向が強まっており、住民の議会に対する関心の低下を指摘せざるを得ない。

⇒議会の位置づけ等の明確化

議会が果たすべき役割、議員の活動のあり方等を含めて、住民との議論をかさねながら、地域の実情に応じて、議会の目指すべき姿を明確化していく取組は、数多くの地域で見られる。その上で、議会の目指すべき姿が議会基本条例などの形で定められることもある。これらは、議会の活性化に向けて、住民とともに持続的な取り組みを行っていく観点から異議があるものと考えられる。

⇒議会が、その重要な役割・責任を十分に果たすよう、議会や議員がそれぞれの立場において、その重い役割や責任を自覚することが何よりも重要である。

- 人口減少社会で重要なことは？

地域社会の将来像をどう描くか？

⇒それに向けて限られた地域資源の投資先の厳選。地方議会で検討を！

選択基準は？

地域の持続可能性(Sustainability)

こころ豊かな暮らし(Well-Being)

⇒若者世代・将来世代を含む多様な主体参画が必須。

多様性に富む地方議会で議論を！

- 多様な人材の議会への参画 → 立候補環境と議会環境の整備、議員へのモチベーション醸成
- より多くの人々が議員になるために → 多様な経験をした多様な世代が多様に参画する議会。社会経験を活かせる議会へ＋議員経験を活かせる社会へ⇒社会全体の変革を！

■第2日目

1.3 課題討議:統一地方選挙の検証と地方議会の課題

◎コーディネーター

大正大学共生学部公共政策学科教授

江藤 俊昭

◎報告者

登別市議会議員

辻 弘之

一般社団法人 WOMAN SHIFT 理事・目黒区議会議員

たぞえ麻友

枕崎市議会議員

永野慶一郎

- 『議会はやりがいがある！』『議員はワクワクする仕事なんだ！重要な仕事なんだ！』『議会は住民のもの。』議員という仕事に真剣に向きあう。議員の身分について確定していく必要もある。
- 確認事項
 - ⇒政治の劣化の現状を確認
 - ⇒その要因を確認

⇒打開の方途を探る:正攻法(住民の福祉の向上(地域力アップ)→議会・議員の魅力の周知→報酬増額等の条件整備→法律改正(兼業禁止の緩和・議員の位置づけの明解化)厚生年金加入の検討。議会報告会・市民との意見交換会、政策サポーター・議会だより・議会モニター

● 若手女性議員のネットワーク&ママの議員インターンについて

【ミッション】届きづらい女性の声を政治につなぎ、1つずつ実現していく。

⇒多様性の討議が必要！女性の活躍がうたわれているが、まだまだ政治の世界での女性比率は低く、特に地方議会では20~30第の女性議員比率は1%にも達していない。

第18回 全国市議会議長会研究フォーラム

3つの課題とWOMAN SHIFTの事業

- 1 そもそもなろうと思わない**

議員を知らない
かっこいいと思わない
やりがいかわからない
何をやっているかわからない
セカンドキャリアがない

女性議員ブランディング

女性議員増やそうの「1対1」(日本経済大学)女性議員の「声の死」(読者の声)「かつてかっこいい！」
大学でのWOMAN SHIFTとしての活動の発信

セカンドキャリア支援

パブリックで読、人、読者のセカンドキャリアについてのインタビュー
<https://publib.jp/2021/05/25/3072/>
- 2 なり方を知らない**

特殊な世界
実際の仕事内容を知らない
議員の選挙の話を聞く機会が少ない
(公職選挙法・資金)

WOMAN SHIFTシスターズ

2019年第一地方選挙を目標とする女性向けの議員本実践、応募者2名中2名が当選。

2021年選挙向け実践を支援、5名議員→1名当選・当選。

ジョセラジ

政治と政治を拒否する「ジョセラジ」を一時の中心WOMAN SHIFTサポーターとして展開中。
- 3 なってもやめてしまう**

独特のルール
男性社会
ロールモデルが少ない
広い意味で「政治経験」が少ない
選挙出馬の心の弱さ
私欲表現ができない
(選挙出馬を断るための理由が「心弱さ」ではない)

若手女性議員向け勉強会

「参議院選挙」のためのスキルとツリを共有し、かつ選挙を2年に4回程度開催。全国初版(第1回)2016年(26-27)実施。全国から5名の選挙経験者、別荘は活用オンラインで全版掲載を定期的に実施。

政策共有+悩み共有の場づくり

WEB上のクローズドな場での悩みや政策共有、選挙準備の共有、議員会向けにLINEオープンチャットでのグループがある。Chie会場の共有開催。

Copyright©一般社団法人WOMAN SHIFT

4

ママの議員インターンとは？

ミッション

女性の声をもっと政治に届ける！


実績

2019年3月開始／2021年に全国展開開始
受け入れ議員28名（延べ人数）
約140名のママが体験（2023年8月末現在）

ママの議員インターン概要

区政の当事者であるママ（在職・育児・専業）に地方議員のもとでインターンに入ってもらいプロジェクトに関わるプロジェクト型、マチの声を届ける区政モニター型、将来議員になりたいママのための議員志望型など主に3種のタイプを想定

原則オンラインの活動




ひろげよう！
ママインターン
プロジェクト

Copyright©一般社団法人WOMAN SHIFT

ママインターンが解決する議員の悩み

社会をよくしたいと思って立候補したものの、議員は個人事業主みたいなものなので孤独だったり、不安だったり……でも、地元の人には気を遣ってしまって正直にいろいろと話せない。そんな議員の悩みをママインターンで解決できる可能性があります。


議員の悩み



昔ながらの後援会がない


✓ 選挙のためにも、後援会のようなものはつくったほうがいいとは思っている。

✓ だけど、バス旅行とか宴会とかそういうのがしたいわけではないし、既存の仕組みからは脱却したい。



選挙で選ばれたけど市民や当事者の声代弁できてる？

✓ 女性の声の代弁者として議会に立っているつもりだけど、本当に市民と同じ感覚を持っているかな？一般市民からかけ離れていないか？心配……。



信頼できる仲間と目指す社会を一緒に作りたい

✓ 議員同士はネットワークがあるけれども、自分の自治体の課題とかと一緒に取り組んでくれる仲間がほしい。

✓ やりたいことがたくさんあるけど、人手が足りなくて困っている。私か2人いればいいのに。


議員とインターン生の間には生まれる相乗効果

ママインターンの活動は
議会議員とインターン生双方にとって非常に良い効果を生んでいる

1. 女性の市民のリアルな生の声が議会や市政に届けることができる

1. 活動のサポートが増えることで、より幅広くスピーディーなアクションを取ることができる


1. 新たな時代の後援会的役割を担うかもしれない



議員

1. 育休や仕事の隙間時間を地域の貢献活動や自身の学びに使うことができる

1. 地域への愛着や関心が高まるとともに、近隣に志をともにする新しい仲間との繋がりができる



ママインターン

学びや活動の機会の提供

情報や活動のサポート

copyright©一社団法人WOMAN SHIFT

ゆるっと、ふわっと、ひろめれば、女性議員が増えていくのでは??

女性の声を政治につなげるために必要なこと

⇒新人議員向けの暗黙のルールを教える勉強会をする

⇒ハラスメント研修をする

- 北海道の地方議員養成講座『地方議会未来への種まき研究会』での実践について

※「なり手」を育てる…現在、議員を育てるといのが、弱いのでは??

北海道で設定された GREENSEED21


⇒戦後 50 年目の 1995 年、北海道庁職員と地方議員が集い結成。「地方で生きる人たちの幸せ」のために「自らが行動を起こし・改善する」活動を続けています。30 周年が近づく中で地方の将来を担う人材を育成し、地方議会に新たな価値を創造していくべきとの声上がる。

※新しい価値を作らないと、北海道が人が住まない観光だけの場所になってしまう。

※札幌に集まって、泊りで学ぶ「地方議員養成講座」以下の6つの講座を展開。運営委員は、道内市町議員に加え、大学教員、道庁職員など。


- ① 大学教授・・・議員はなぜ存在するのか？
- ② 企業経営者・・・地方が生き抜く手段
- ③ 現職首長・・・政治家を志した実際
- ④ 地元住民・・・地域を変えた仕事
- ⑤ 元道選管・・・公職選挙法の運用
- ⑥ 現職議員・・・選挙・広報戦略

受講者




橋中 康晴

選挙準備について、現場から経験則を基に心構えも含め具体的に教えていただいたことが良かった。抱か懐疑を覚した際、すでに用意できる先達たちに選挙の1年前に訪ねたことは非常に大きかったです。



小暮 由美


本邦選挙制を使っていませんでしたが、見取できる意味が欲しくて受講。現行は気象のなごころの備わりの良さを生かせる効果となっています。他国・政党関係なくつなげたいと考えているのは共通です。



梅田 健太郎

現職議員生活のためオンラインを中心に受講。議員のなり手不足解消のため、議員報酬を下げたりと様々な取り組みが議論されていますが、まずは工務費を減らすハードルをさげてくれるべきは日本当に有識者です。

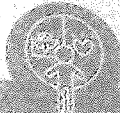
✿実績・・・受講者の60%(30名)が立候補！20名が当選



育てる

私たち自身が担うべき役割

- ・住民自治の実現にむけて多様な価値観が反映される議会をつくるため
- ・「議会」の社会的課題に対する解決能力をあげるため
- ・勇退時では遅い



働き方

社会変革・制度改革

- ・優秀な人材確保のため
- ・地方公務員キャリアを評価したセカンド/ハルセルキャリア
- ・フリーランスと同程度の社会保障・福利措置

■所感

今回の全国市議会議長会研究フォーラムは、自分は何のために、議員という仕事を選び、日々どのような想いで活動するべきか！深く深く再確認でき、多くの課題を頂いた素晴らしい学びの場となりました。

誰のための議会改革なのか！議会の機能を高めるために議会改革は必要！
そのために、

- ☆次世代の地域リーダー
- ☆「想い」をもつ人材
- ☆多様な人材

の発掘に積極的にならなければと。

今後、企画してみたいと考えたのが、将来地方議員を目指している、関心がある方、初当選議員さんに向けた、基本の学びと人脈づくりの場となるセミナー。

今後、議会の機能強化と市民と市議会との意見交換会を具体的に取り組んでいけたらと思いました。『生まれて良かった住んで良かった伊勢崎市を目指して！』具体的な行動指針をまとめ、所感とさせていただきます。ありがとうございました。

❁ 自分が伊勢崎市をもっともっと好きになる！

まちの良さを伝えるには、『自分が誰よりもそのまちを愛すること』だと。まちを愛している「人」が話すからこそ、訪れる人が自分のまちや思い出に重ねて共感し、自己肯定感が生まれ、自分のまちや家族そして自分自身が大好きであることの再確認につながる。

❁ 自分が伊勢崎市の自治についてもっと知る！

まちづくりにおいて、“いつ頃”“どの地区”において“誰が主体となって”“どんなまちづくり”が実施されるのか。まちなかに関わる全ての人の“居場所”と“出番”を明らかにする。多くの市民から共感を得て、さらに次の行動を誘うというプロジェクト自体が“進化”していくと好循環となる。

❁ 自分が伊勢崎市で一番輝く存在になる！

人口減少時代のまちづくりのキーワードは、「楽しい、うれしい、面白い」。この3つを追求しながら、楽しい image を描き、みんなで楽しく集い、語りながら前向きにチャレンジするムードをつくる。その積み重ねの中に、人口減少時代を生き抜く知恵とエネルギーが生まれてくる。

❁ 自分が伊勢崎市の歴史・文化を知る！

強烈な郷土愛を醸成していくこと。そして、幸せづくりに人々が積極的にコミットでき、そのプロセスを楽しめるようなまちづくりチームをいくつか作っていく。

以上

令和 5 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号 27

会 派 名	有志会	議員氏名	田村幸一
支出年月日	令和5年 11月 30日 (第3 四半期)	支 出 額	5280 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使 途 区 分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 ⑧. 事務所費		
備 考	事務所プリンターインク代		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証



コジマ×ビックカメラ スマーク伊勢崎店
電話番号 0270-70-5200

有志会 様

¥5,280-

(内、消費税等 ¥480-)
お品物 () 代として
上記正に領収致しました。

「コジマ×ビックカメラ」ますます便利に！
その1 ポイント交換でお得にお買い物！
その2 どちらのお店でも修理を承ります！

2023/11/30/17:47 レジNo481/0103
取引No3280 販売員

↓イカ 801321+3205HP ¥5,280
小計 ¥5,280
合計 ¥5,280
(内、消費税等 ¥480)
点数 1

お支払い ¥5,280
<お支払の内訳>
現金 ¥5,280
(内、消費税等 ¥480)
お預かり合計 ¥10,000
釣銭 ¥4,720
(株)コジマ
登録番号 T2060001001667

令和 5 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

29

会派名	有志会	議員氏名	堀地 和子
支出年月日	令和 5 年 12 月 27 日 (第 3 四半期)	支出額	1980 円
按分した場合	(金額) 円 × (按分率) % = 円		
使途区分	1. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 ④ 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備考	前橋学フックレット.34.35.36		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

領 収 証

有志会

様 No. _____

¥ 1,980.-

但 本代

入金日 5 年 12 月 27 日 上記正に領収いたしました

登録番号 T2810453382140

収 入
印 紙

内訳
 税抜金額 1800
 消費税額等 (10%) 180

伊勢崎市大手町2番15号
 三光堂書店
 鹿沼 中
 電話(0270)25-2347(代)

令和 5 年度政務活動費領収書等貼付用紙

整理番号

30

会 派 名	有志会	議員氏名	堀 地 和 子
支出年月日	令和 5 年 12 月 29 日 (第 3 四半期)	支 出 額	3,770 円
按分した場合	(金額)	円 × (按分率)	% = 円
使 途 区 分	①. 調査研究費 2. 研修会議費 3. 資料作成費 4. 資料購入費 5. 広報広聴費 6. 要請・陳情活動費 7. 人件費 8. 事務所費		
備 考	一般社団法人マニフェスト研究会年会費及び振込手数料		

◎貼付欄 (領収書等は、重なりや折れがないように貼付する。)

キャッシュサービス ご利用控
毎度ご利用いただきありがとうございます。

群馬銀行

●お取引種別 ●取扱店 ●機番 ●お取扱い日
振込 [] 05-12-29
●お取引銀行(会社) ●お取引店 ●口座番号

●お取扱枚数 00000004000000000000
●振込番号 ●処理番号 ●お取引金額
[] [] ¥3,000
●手数料 ●残高(一がある場合は、お借入残高を表わします)
¥770
●おつり ●説明コード ●ページ ●取引時刻
¥230 11:58
●ご案内

□座番号 []
受取人名 イツハ°ソツヤタ°ソホウツ°ソ
マニフェストケンキウカイ 様
依頼人名 コウツカイ ホツチカス°コ 様

2023年12月15日
一般社団法人マニフェスト研究会
ローカル・マニフェスト推進連盟事務局

マニフェスト大賞冊子のお届けと年会費お支払いのお願い

日頃より、ローカル・マニフェスト推進連盟の活動にご参加くださりまして、誠にありがとうございます。

この度、第18回マニフェスト大賞の記念冊子が完成しましたので、当連盟会員の皆様にお届けします。

また、2023年度分の年会費をお支払いいただきたく、本紙にて御請求書を送付させていただきます。ご多用のところ誠に恐れ入りますが、期日までに年会費のお支払いをお願い申し上げます。

本件に関する連絡先
ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (早稲田大学マニフェスト研究所内)
担当: [REDACTED] TEL: 03-6709-6739 / Mail: mani@maniken.jp

請求書

発行日: 2023年12月15日

堀地和子様

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
一般社団法人マニフェスト研究会
代表理事 中村 健

登録番号 T6010005021324
〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町517-1
ドラーズ早稲田402
電話: 03-6709-6739 メール: mani@maniken.jp

下記の通り、ご請求申し上げます。

合計: ¥ 3,000-

内容	金額(円)	備考
ローカル・マニフェスト推進連盟 2023年度 (2023年7月1日から2024年6月30日まで) 年会費 (課税対象外) として	3,000	※課税対象外
合計	3,000	

お振込み先

一般社団法人マニフェスト研究会
お支払い期日: 2024年1月31日

※誠に恐縮ですが、お振込手数料はご負担願います
※領収書が必要な場合は事務局 (メール: mani@maniken.jp) までご連絡ください